

平成 22 年度

上里町まちづくりアンケート調査 報告書

《 目 次 》

I 調査概要	- 1 -
1. 調査目的	- 1 -
2. 調査項目	- 1 -
3. 調査仕様	- 1 -
4. 回収数・回収率	- 2 -
5. 調査結果の補足説明	- 2 -
6. 回答者の基本属性	- 3 -
調査結果概要	- 5 -
1. 上里町での暮らしやすさについて	- 5 -
2. 各施策分野の満足度・重要度について	- 5 -
3. まちづくりの全体方向について	- 5 -
4. 施策分野ごとの意識	- 5 -
調査結果詳細	- 7 -
使用調査票	

I 調査概要

1. 調査目的

本調査は、平成23年度の上里町総合振興計画（後期基本計画）の策定へ向け、統計的手法によって、市政に対する市民全体の考え方を把握することを目的とした。

2. 調査項目

- (1) 基本属性
- (2) 上里町での暮らしやすさについて
- (3) 各施策分野の満足度・重要度について
- (4) まちづくりの全体方向について
- (5) 施策分野ごとの意識
 - 1) 保健・医療・福祉について
 - 2) 身近な地域について
 - 3) 環境問題について
 - 4) 防災について
 - 5) 交通対策について
 - 6) 地域情報化について
 - 7) 産業振興策について
 - 8) 学習・スポーツなどについて
 - 9) 男女共同参画について
 - 10) 行政運営について
 - 11) 市政に対して思うことについて
 - 12) 地域活動と市政とのかわりに
ついて

3. 調査仕様

- (1) 調査地域 上里町全域
- (2) 調査対象 上里町住民基本台帳に登録された18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 2,022
- (4) 抽出方法 住民基本台帳より、無作為抽出とした
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収

調査期間 調査票発送	平成23年1月23日(日)
調査票投函期限	平成23年2月 4日(金)
集計対象	平成23年2月16日(水)到着分

本調査は平成22年度の調査であるが、調査実施年については平成23年のため、以下の表記では本調査はH23年と表記している。

4. 回収数・回収率

- (1) 回収数 1,029 票 (回収率 50.9%)
- (2) 有効回答数 1,017 票 (有効回収 50.3%)

5. 調査結果の補足説明

(1) 調査結果の見方

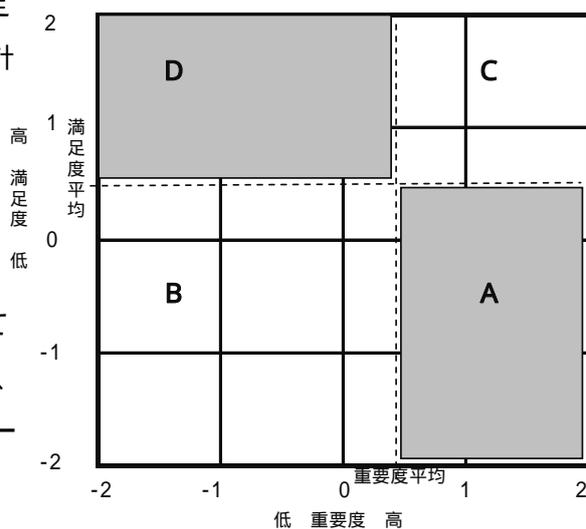
報告書中の問番号および設問は、調査票の問番号および設問をそのまま示している。また、本文やグラフ・数表上の選択肢の表記は、語句を簡略化している場合がある(詳細については、調査票参照のこと)。

調査結果の数値は回答率(%)で示している。%の母数は、その質問に回答した数または分類別(男性等)の数で、「サンプル数」または「N」「Total」で表している。

割合は小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで示している。よって、「」は1つだけ」などの質問であっても、回答比率の合計値が100.0%にならない場合がある。

段階評価を行った設問では、各選択肢に設定した(+2点)から(-2点)までの得点の合計を回答者数で割って求めた平均ポイントを算出している。

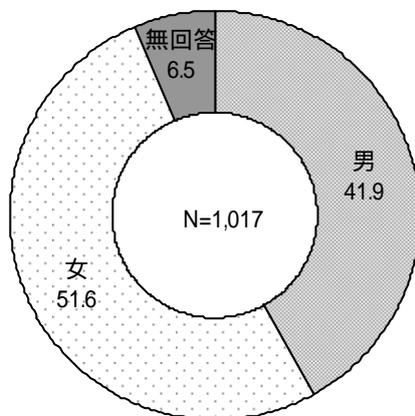
「満足度」と「重要度」の平均ポイントを用いて、CS(Customer Satisfaction=顧客満足)分析を実施している。CS分析では、全ての設問項目の平均ポイントから座標軸を設定し、各項目間の相対的な関係を次の4つの方向性(ゾーン)でグラフ上に整理している(図表参照)。



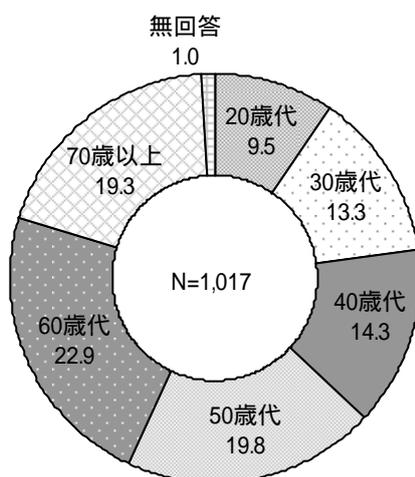
<p>D：維持分野 現状においては、相対的な関係では満足度が高いものの、今後の重要度は低く評価されている。よって、現状維持で実施するか、取り組みの見直しなども考えられる分野である。</p>	<p>C：重点維持分野 現状においては、相対的な関係では満足度を感じている市民が多く、重要度も高く位置づけられている。よって、今後もこの水準を保つことが望ましく、現状維持で取り組む方向で検討したい分野である。</p>
<p>B：改善分野 現状においては、市民が評価できる段階に至っていなかったり、相対的にみて満足度も重要度も低く位置づけられている。よって、周知を徹底したり、実施方法や予算、内容等を見直し、改善等の検討が期待される分野である。</p>	<p>A：重点改善分野 現状においては、市民が評価できる段階に至っていなかったり、相対的にみて満足度は低いという評価であるが、今後の重要度は高く評価されている。よって、当該項目への着手や推進により、満足度が改善していくことが期待される分野である。</p>

6. 回答者の基本属性

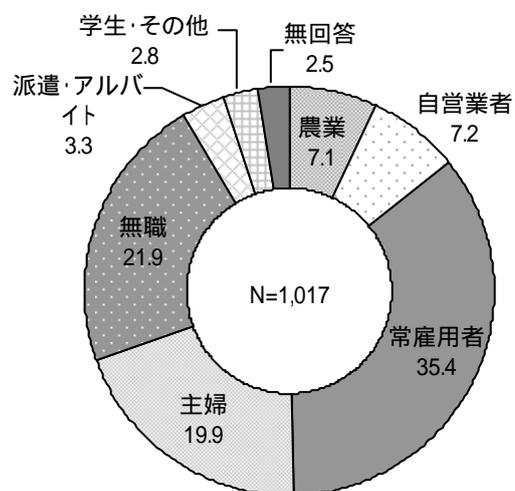
(1) 性別 (%)



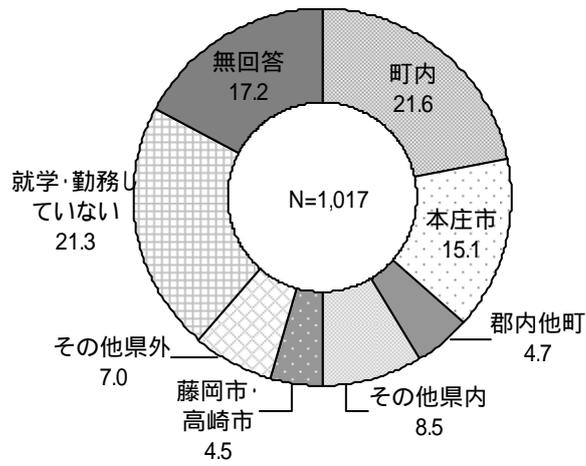
(2) 年齢 (%)



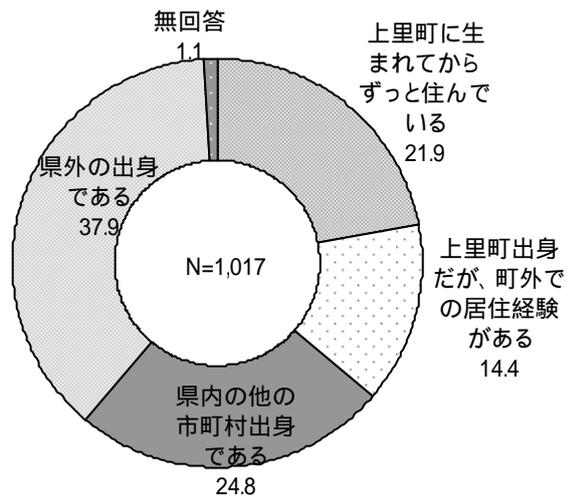
(3) 職業等 (%)



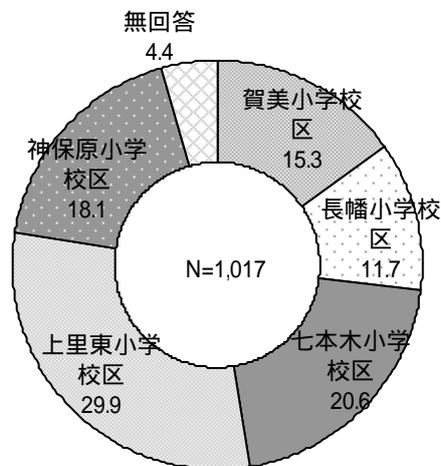
(4) 就学先・勤務先 (%)



(5) 出身地 (%)



(6) 居住地 (%)



調査結果概要

1. 上里町での暮らしやすさについて

上里町の住みよさについては、全体では「まあまあ住みよい」が61.5%と最も多く、次いで「住みよい」が25.9%となっている。両者を合計した、《住みよいと感じている》割合は87.4%である。

2. 各施策分野の満足度・重要度について

(1) 満足度について

<保健・医療・福祉>の領域では、「保健」「医療」については、「満足している」と「やや満足している」を合わせた割合はそれぞれ、45.4%、36.3%。

<生活環境>の領域では、「水道」と「ごみ収集・処理」が満足度が高い項目で、とくに後者は「満足」と「やや満足」を合わせた値は61.2%になり、全体の項目で1番満足度が高い。

<産業振興>では、基本的にどの質問項目でも「どちらとも言えない」が多い。「商業振興」「観光振興」は、「やや不満」「不満」を合わせた値は26.5%、34.3%である。

<教育・文化>では、「学校教育」の満足度が高く、「満足」「やや満足」を合わせた値は26.5%。

<行政・まちづくり>では、「行財政運営」についての「満足」「やや満足」を合わせた値は12.2%で、「やや不満」「不満」を合わせた値は20.0%である。しかし最も高いのは「どちらともいえない」の60.3%であった。

(2) 重要度について

<保健・医療・福祉>では、どの項目も重要度は高く、「医療」87.1%、「高齢者への介護・福祉」82.2%。

<生活環境>では、「ごみ収集・処理」が、「重要である」「やや重要である」を合わせた値が81.9%と、最も高い。

<産業振興>では、「雇用対策」が「重要である」の値が46.8%と高く、これに「やや重要である」を合わせると68.3%。

<教育・文化>では、「重要である」の割合が高いのは「学校教育」で55.9%。

<行財政・まちづくり>では、「行財政運営」の「重要である」の割合が高く、37.8%。

3. まちづくりの全体方向について

どういう方向を目指すべきかという意見については、1位「高齢者や子ども、障害者を大切にする福祉のまち」(23.1%)、2位「良好な生活環境の整った住宅のまち」(18.7%)。

4. 施策分野ごとの意識

(1) 保健・医療・福祉について

自分が「健康」だと思うかについては、全体では「そう思う」「ややそう思う」を合計した割合は77.9%。

(2) 身近な地域について

「自分の住んでいる地区は、近所づきあいが活発である」については、「そう思う」「ややそう思う」を合わせると50.2%、「あまりそう思わない」「まったく思わない」は48%。

- (3) 環境問題について
「ごみをきちんと分別する」については、「いつも行っている」は 64.4%。
- (4) 防災について
「防災備品の準備」を「あまり行っていない」「まったく行っていない」はあわせて 68.9%。
- (5) 交通対策について
最も期待されている取り組みは、「高崎線の利便性の確保」で 23.1%。
- (6) 地域情報化について
最も期待されている取り組みは、「保健・医療・福祉、生涯学習・文化スポーツをはじめとする多様な分野での情報サービスの提供」で 35.4%。
- (7) 産業振興策について
町の商業を振興するために期待されている取り組みは、「神保原駅周辺や国道 17 号沿線の商業環境の整備」で 29.9%。
- (8) 学習・スポーツなどについて
小中学校の教育については、「基礎学力を定着する教育ができている」について「そう思う」は 9.4%、「そう思わない」18.2%、「わからない」39.0%。
- (9) 男女共同参画について
男女が平等になるために重要な施策はどれかという問に対し、全体で最も選ばれた回答は「偏見の改善」で 23.8%。
- (10) 行政運営について
「職員の対応・態度が悪い」について「そう思う」「ややそう思う」を合わせ 27.4%、「あまりそうは思わない」「そうは思わない」は 68.0%。

調査結果詳細

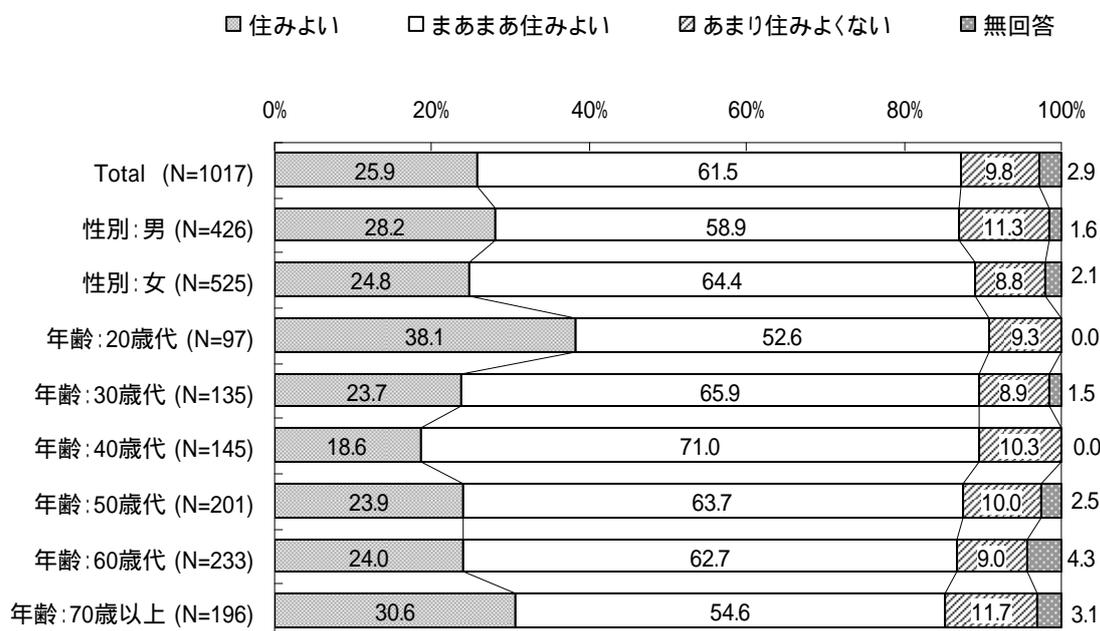
問2 あなたは、上里町は住みよいと感じていますか。(1つに)

上里町の住みよさについては、全体では「まあまあ住みよい」が61.5%と最も多く、次いで「住みよい」が25.9%となっている。両者を合計した、《住みよいと感じている》割合は87.4%である。

性別で見ると、「女性」に比べ、「男性」で「住みよい」の割合が高くなっているが(男性28.2%、女性24.8%)《住みよいと感じている》割合では、「女性」の方が高くなっている(男性87.1%、女性89.2%)。

年代別で見ると、20歳代では「住みよい」が38.1%となっており、他と比べて多くなっている。《住みよいと感じている》割合も、90.7%と最も多い。一方、70歳以上では、「住みよい」の割合は30.6%となっており、年代別では2番目に多いのであるが、《住みよいと感じている》割合は85.2%と最も少なくなっている。

< 性・年代別 >



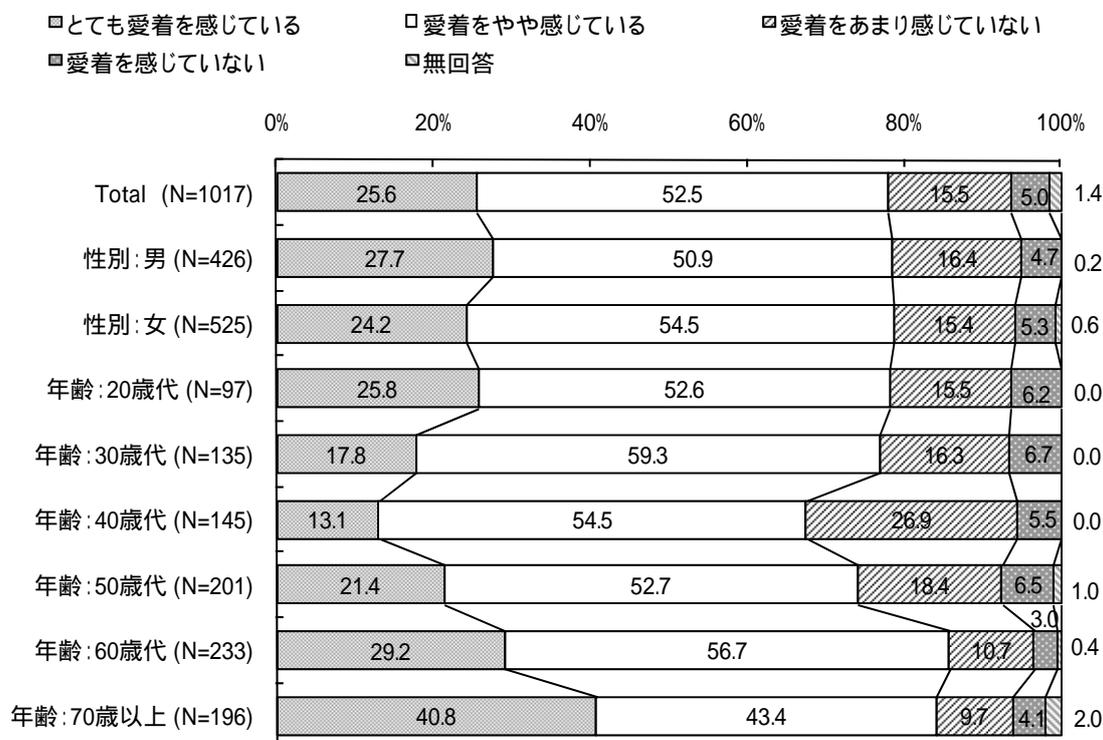
問3 あなたは、上里町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。
(1つに)

上里町への愛着を感じているかについては、全体では「愛着をやや感じている」が52.5%と最も多く、次いで「とても愛着を感じている」が25.6%となっている。この両者を合計した《愛着を感じている》割合は78.1%である。

性別で見ると、「女性」に比べ、「男性」で「とても愛着を感じている」の割合が多くなっているが、《愛着を感じている》割合では大きな差はない。

年代別でみると、70歳以上では、「とても愛着を感じている」の割合が40.8%と最も多く、次いで60歳代が29.2%、20歳代が25.8%となっている。一方で、40歳代では「とても愛着を感じている」の割合が13.1%と、他と比べて少なく、「愛着をあまり感じていない」の割合が26.9%と、他と比べて最も多くなっている。

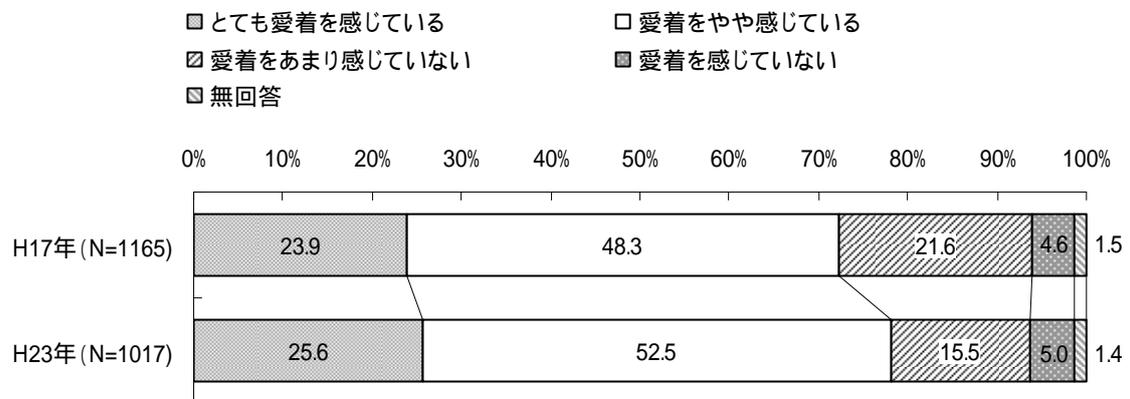
< 性・年代別 >



<平成 17 年との比較>

平成 17 年では、「とても愛着を感じている」が 23.9%であったのに対し、平成 23 年では 25.6%と若干ではあるが増えている。また「愛着をやや感じている」も 48.3%から 52.5%と増えており、両者を合わせた数値を《愛着を感じている》とした場合、この値は 72.2%から、78.1%へ増えている。

< H17年とH23年の比較 >



問4 あなたにとって、もっとも残しておきたい上里町のよさは何ですか。(1つに)

残しておきたい上里町のよさとして、全体では、1位が「公害のない健全な住環境」で33.5%、2位は「のどかな雰囲気」で30.3%、3位が「豊かな自然環境」で21.6%である。

男女別では、それほど大きな違いはみられないが、若干女性の方が「のどかな雰囲気」の割合が高い。

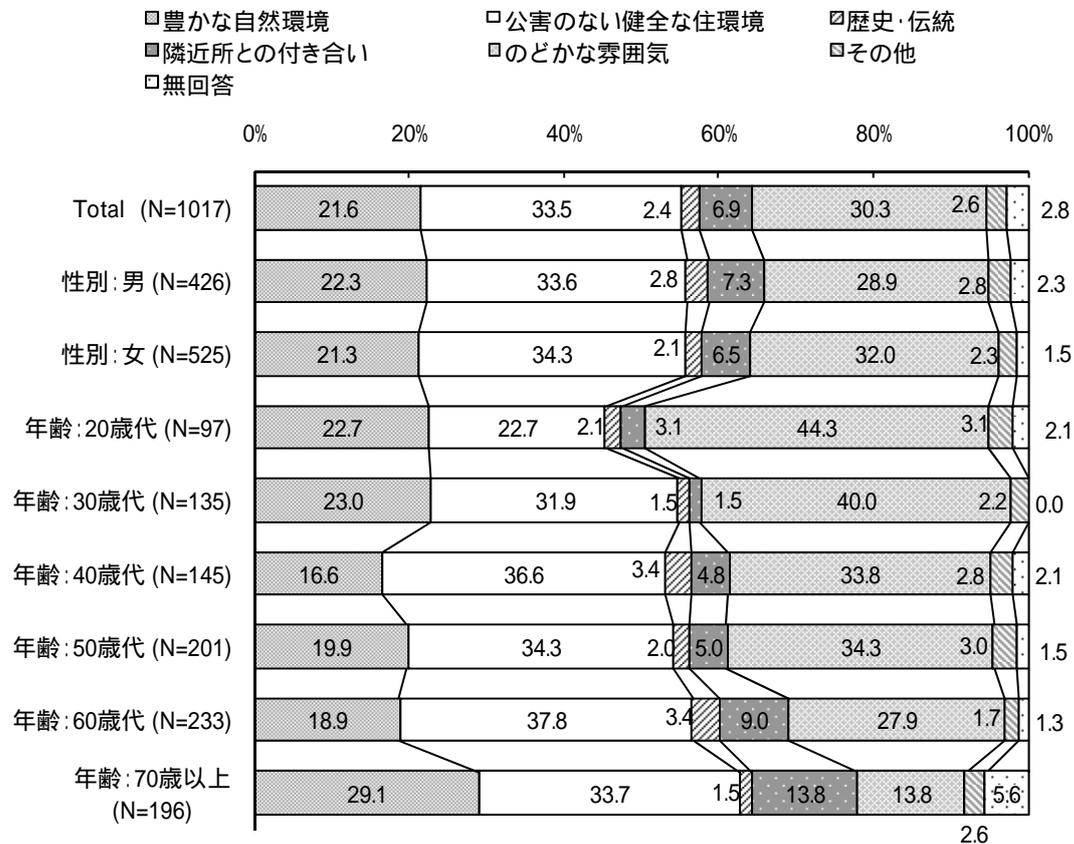
年代別では、20歳代、30歳代では「のどかな雰囲気」を選ぶ人が多く、それぞれ44.3%、40.0%となっている。

また、40歳以上の年代では、「公害のない健全な住環境」を選ぶ人が多く、40歳代では36.6%、50歳代では34.3%、60歳代では37.8%、70歳以上では33.7%が、この選択肢を選んでいる。

70歳以上の世代は、他の年代と比べて「のどかな雰囲気」を選ぶ人が少なく13.8%であり、一方で他の年代より「豊かな自然環境」を選ぶ人が29.1%と相対的に多い。

また「隣近所との付き合い」は、年代の低い方から3.1%、1.5%、4.8%、5.0%、9.0%、13.8%となっており、年代が高くなるにつれて、この割合が高くなる傾向がある。

< 性・年代別 >



問5 あなたは、今後も上里町に住み続けたいですか。(1つに)

今後も上里町に住み続けたいか、という点については、全体では「ずっと住み続けたい」が51.6%と最も多くなっており、次いで「当分は住み続けたい」が30.2%となっており、両者をあわせると、81.8%が住み続けたいと考えている。

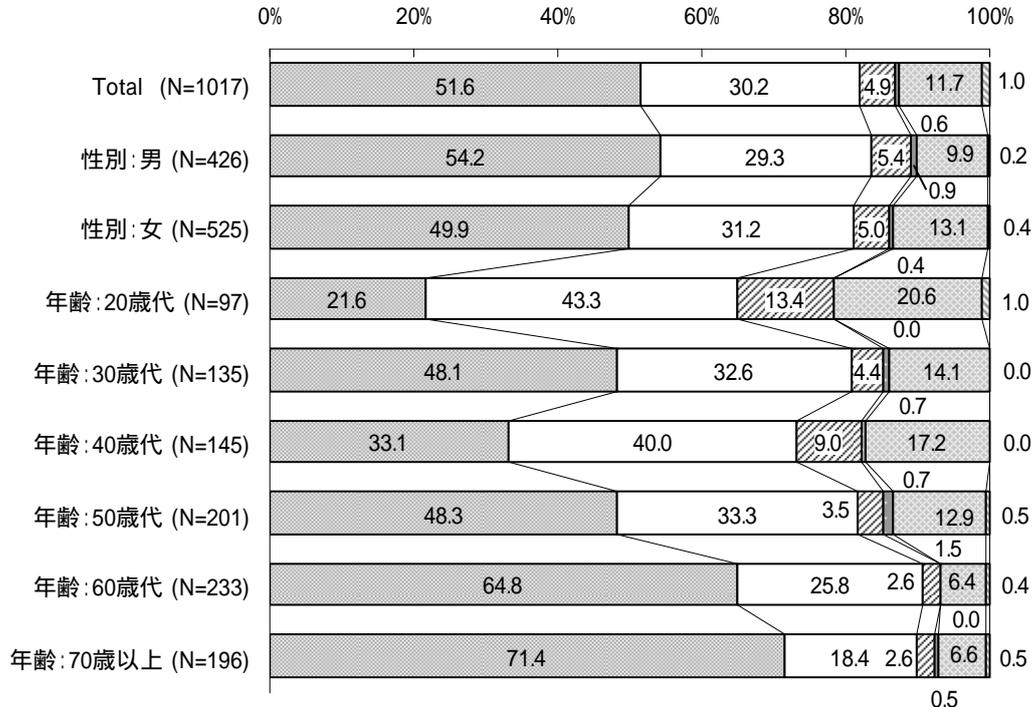
性別で見ると、「ずっと住み続けたい」の割合は、「女性」49.9%に対し、「男性」は54.2%と多くなっている。

年代別で見ると、「ずっと住み続けたい」の割合は、若い年代から21.6%、48.1%、33.1%、48.3%、64.8%、71.4%と、30歳代を除き、年齢が高くなるにつれて多くなっている。

「いずれ町外に転居したい」の割合も、相対的に若年層で高く、特に20歳代は13.4%となっている。

<性・年代別>

- ずっと住み続けたい □ 当分は住み続けたい ▨ いずれ町外に転居したい
- すぐに町外に転居したい □ わからない □ 無回答



問6 上里町の生活環境やまちづくりの現状について 満足度、重要度を分野ごとにお尋ねします。

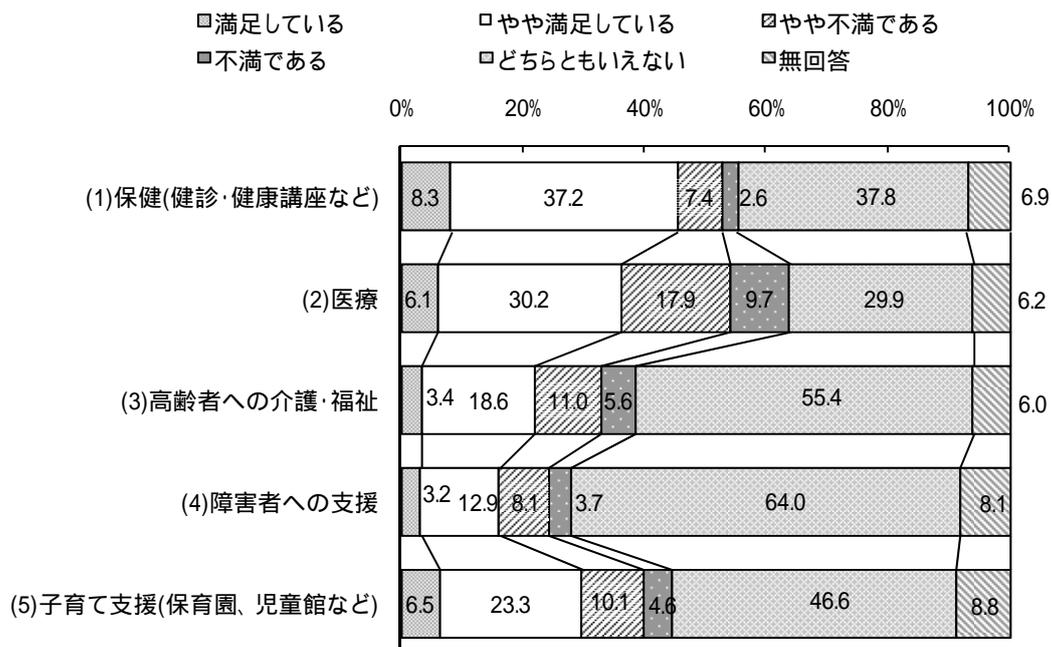
<満足度 保健・医療・福祉>

「保健」「医療」については、「満足している」と「やや満足している」を合わせた割合はそれぞれ、45.4%、36.3%と、他の項目と比べて高い値となっている。

他方で、「高齢者への介護・福祉」「障害者への支援」の項目では、この値は22.0%、16.1%となっている。これは「どちらともいえない」という回答が55.4%、64.0%と多いことと関連していると考えられる。

「子育て支援」では、「満足」「やや満足」を合わせた値は29.8%であり、「高齢者への介護・福祉」「障害者への支援」に比べると相対的に高い値となっている。

<満足度 保健・医療・福祉>



<満足度 生活環境>

「公園」については、「満足」と「やや満足」を合わせた値は 15.9%と低く、「やや不満」「不満」を合わせた値は 46.8%と高い値になっている。

「道路整備」と「鉄道バス」については、「満足」「やや満足」を合わせた値は、30.3%、25.7%であるが、「やや不満」「不満」を合わせた値は 39.9%、35.0%となっており、不満の方が、若干割合が高い。

「水道」「污水处理」については、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、53.8%、25.2%と、「水道」の満足度が非常に高く、「污水处理」は低い。

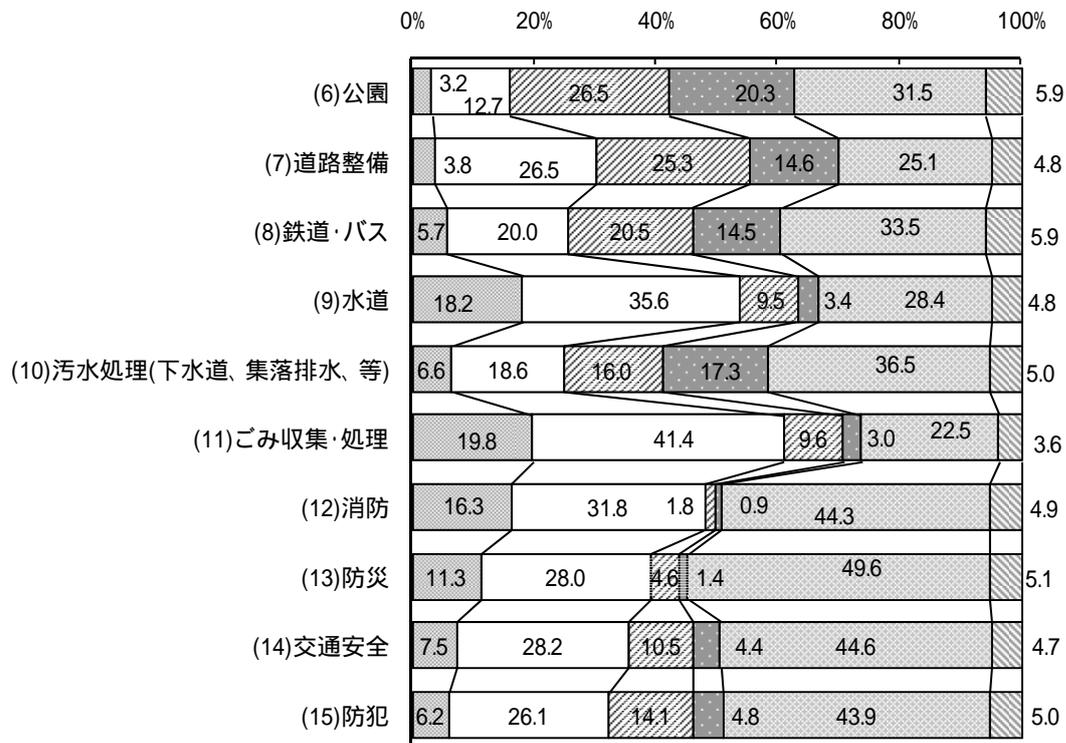
「ごみ収集・処理」も満足度が高い項目で、「満足」と「やや満足」を合わせた値は 61.2%になり、全体の項目で一番満足度が高い。

「消防」「防災」については、「満足」と「やや満足」を合わせた値は、48.1%と 39.3%と比較的高い値であり、他方で「やや不満」「不満」を合わせた値が、2.7%と 6.0%と非常に低い値になっている。

「交通安全」「防犯」については、「満足」「やや満足」を合わせた値は、35.7%、32.3%とやや高い値で、「やや不満」「不満」を合わせた値の 14.9%、18.9%よりも高い。

<満足度 生活環境>

満足している やや満足している やや不満である
不満である どちらともいえない 無回答



<満足度 産業振興>

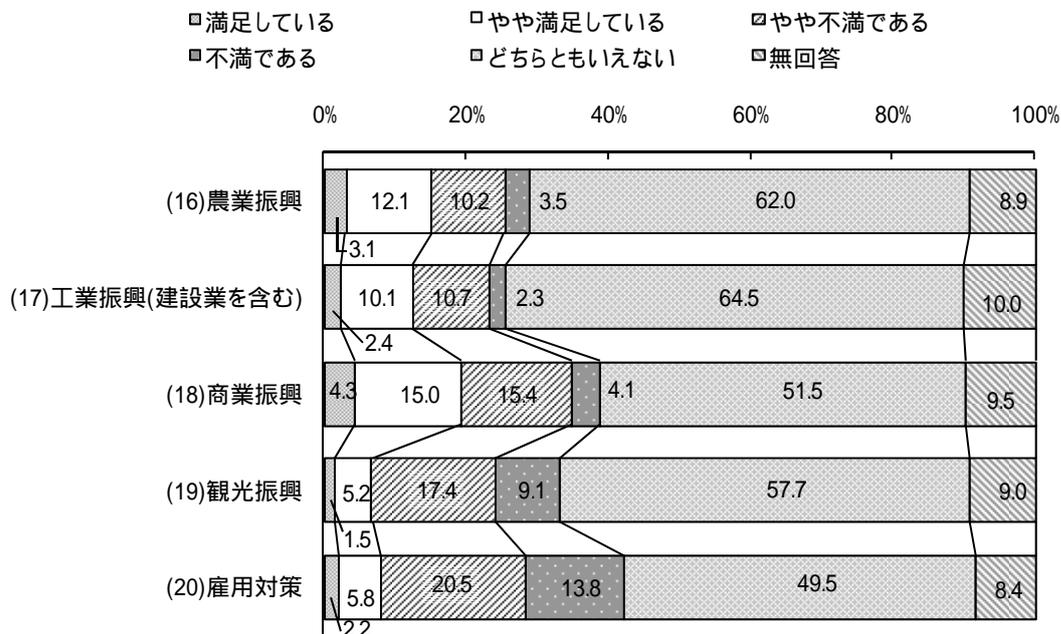
産業振興については、基本的にどの質問項目でも「どちらとも言えない」が多い。

「農業振興」「工業振興」「商業振興」については、「満足」「やや満足」を合わせた値は、それぞれ、15.2%、12.5%、19.3%であり、「観光振興」「雇用対策」の6.7%、8.0%と比べると相対的に高い。

ただ、これらの分野以外の項目と比較すると、いずれも「満足」「やや満足」の割合は相対的に低いといえる。

また「観光振興」「雇用対策」は、「やや不満」「不満」の値も26.5%、34.3%であり、「満足」「やや満足」の値である、6.7%、8.0%と比較して、不満が高いと言える。

<満足度 産業振興>



<満足度 教育・文化>

この教育・文化の分野でも、全体的に「どちらともいえない」の割合が多い。

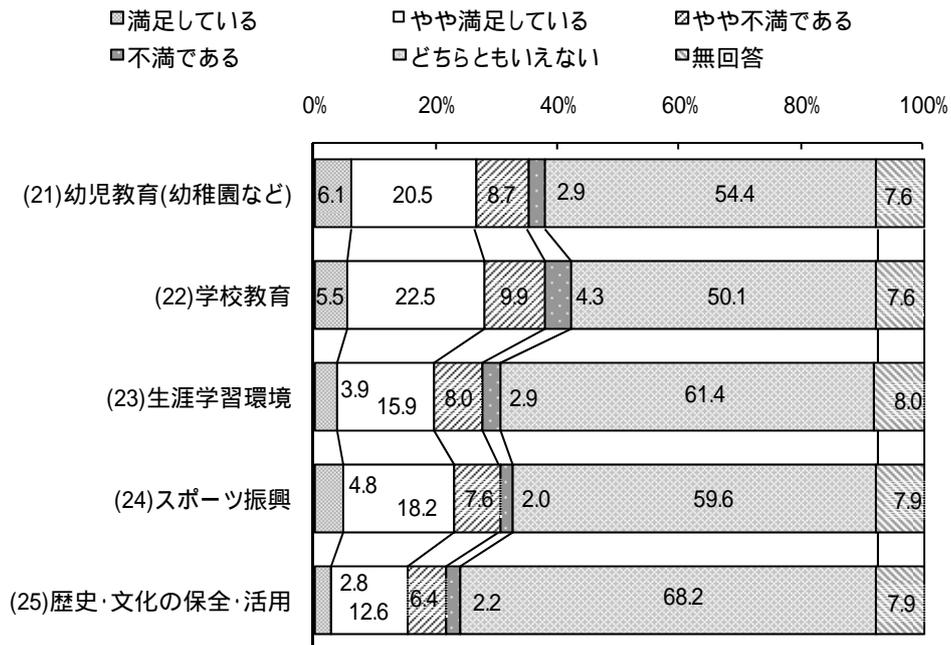
「幼児教育」「学校教育」では、「満足」「やや満足」を合わせた割合は、それぞれ 26.5%、28.0%であり、「やや不満」「不満」の 11.5%、14.3%よりも高い。

「生涯学習環境」については、同じく、19.9%と 10.8%であり、先の 2 つよりも満足度は若干低い。

「スポーツ振興」については、同じく 23.0%と 9.5%であり、満足度は相対的に高い。

「歴史・文化の保全・活用」については、「どちらともいえない」が 68.2%と多い。

<満足度 教育・文化>



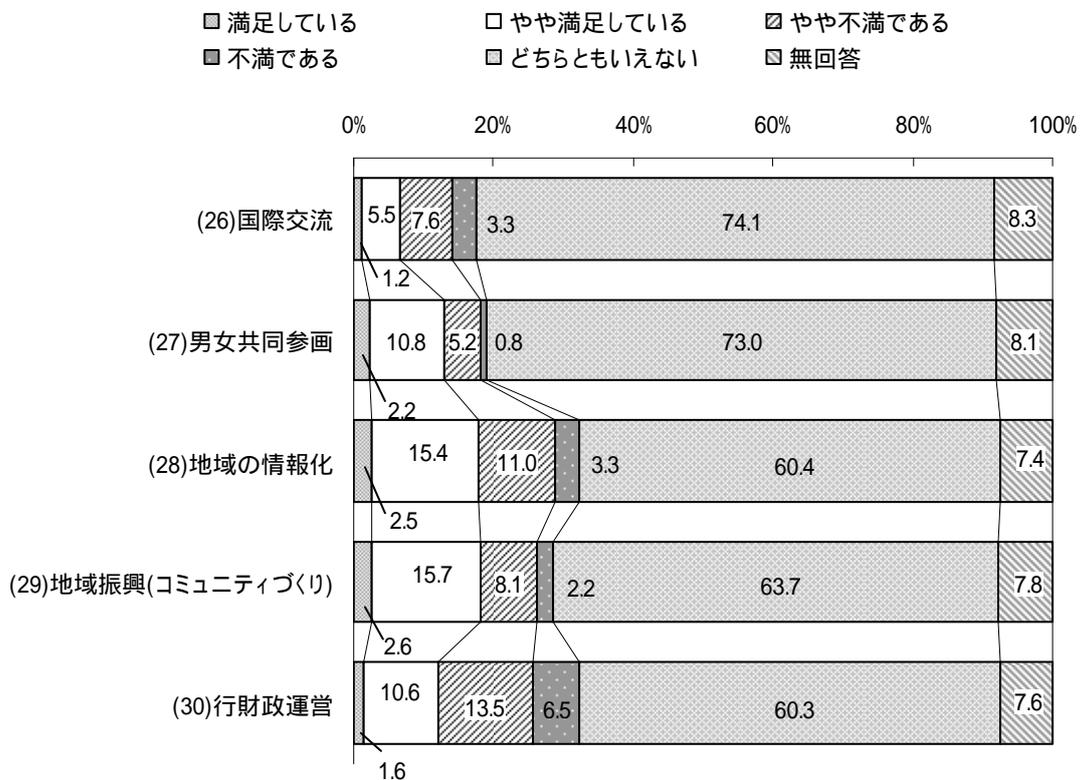
<満足度 行財政・まちづくり>

「国際交流」「男女共同参画」については、「どちらともいえない」の割合が高く、それぞれ74.1%、73.0%となっている。

「地域の情報化」「地域振興」についても、「どちらともいえない」の割合は高く、それぞれ60.4%、63.7%である。前者については、「満足」「やや満足」を合わせた値は17.9%、「やや不満」「不満」を合わせた値は14.3%で、若干「満足」のほうが高い。後者については、おなじく18.3%、10.3%となり、満足の方が高い。

「行財政運営」についても、「どちらともいえない」は60.3%と高い。他方で、「満足」「やや満足」を合わせた値は12.2%であるのに対し、「やや不満」「不満」を合わせた値は20.0%であり、不満の方が高くなっている。

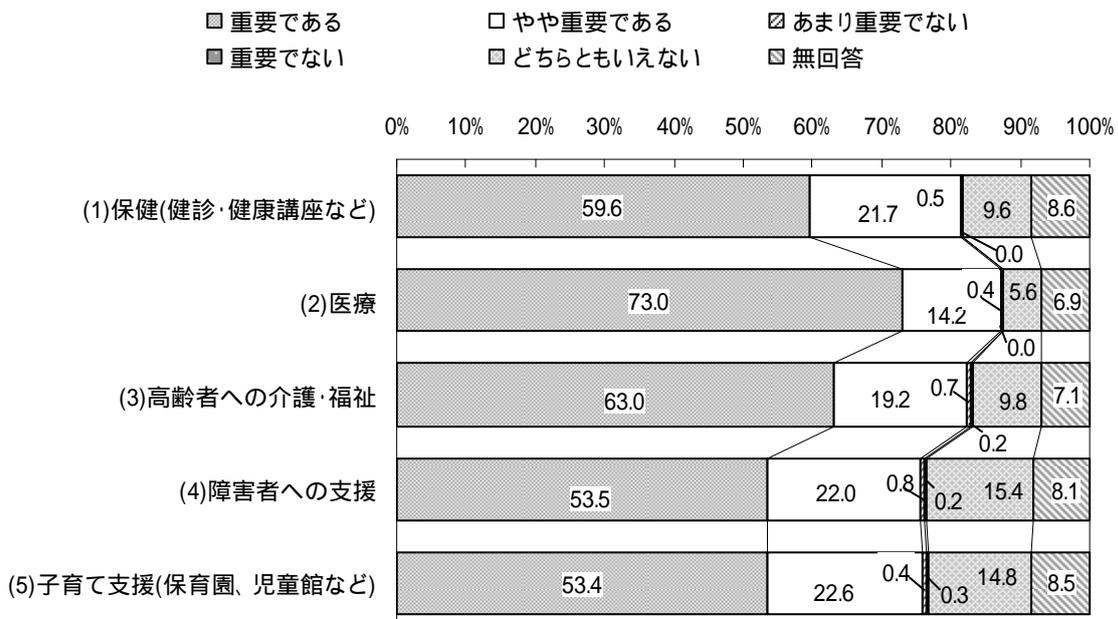
<満足度 行財政・まちづくり> N=1017



<重要度 保健・医療・福祉>

まず、どの項目も「重要である」という回答が高く、それぞれ、50%以上である。「重要である」「やや重要である」を合わせた《重要である》は、それぞれ順に、「保健」81.3%、「医療」87.2%、「高齢者への介護・福祉」82.2%、「障害者への支援」75.5%、「子育て支援」76.0%となり、いずれも高い値をとっている。なかでも「医療」については重要であると回答している人が最も多い。

<重要度 保健・医療・福祉> N=1017

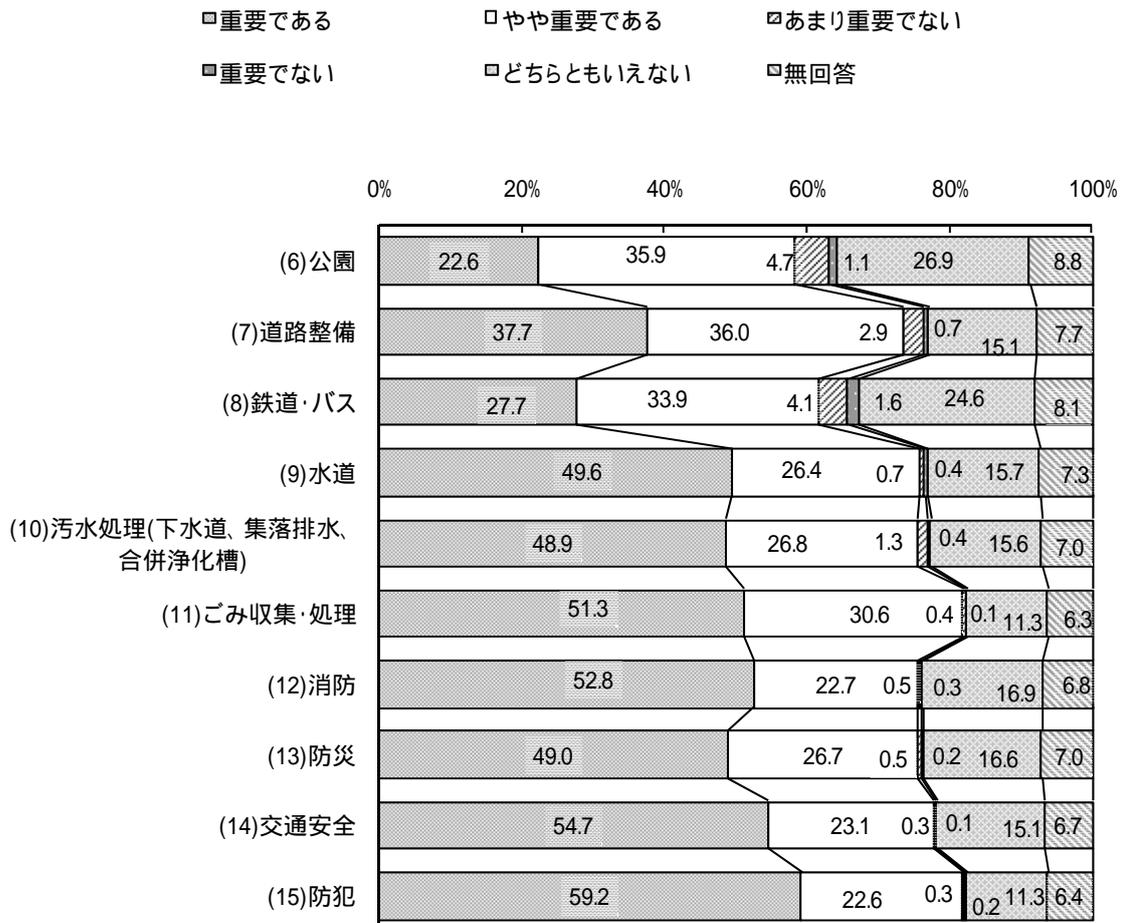


<重要度 生活環境>

生活環境については、「重要である」の割合が相対的に低いのは「公園」「鉄道・バス」となっている。ただし「やや重要である」の割合を足し合わせた《重要である》になると、両者とも58.5%、61.6%と半数を超えた値になる。また「どちらともいえない」も、26.9%、24.6%と、他の項目に比べて高い割合になっている。

このほかの項目について、《重要である》はそれぞれ「道路整備」73.7%、「水道」76.0%、「污水处理」75.7%、「ごみ収集・処理」81.9%、「消防」75.5%、「防災」75.7%、「交通安全」77.8%、「防犯」81.8%と高い値であり、重要度が高いと認識されている。

<重要度 生活環境> N=1017



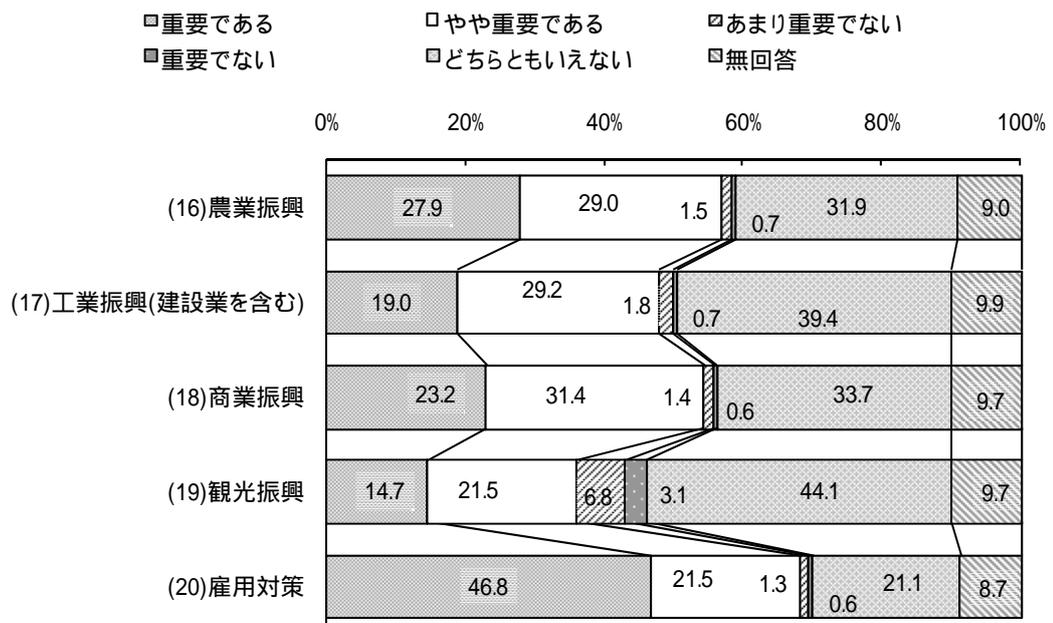
<重要度 産業振興>

産業振興の中では、「雇用対策」について「重要である」の値が 46.8%と高く、これに「やや重要である」を合わせた《重要である》では、68.3%になる。

他方で、「重要である」が最も低いのは「観光振興」で 14.7%である。《重要である》の値も 36.3%と相対的に低く、またどちらとも言えないという回答も高く 44.1%である。

このほか、《重要である》の比率を見ていくと、「農業振興」は 56.9%、「工業振興」48.2%、「商業振興」54.6%となっている。

<重要度 産業振興> N=1017



<重要度 教育・文化>

この分野で、「重要である」の割合が高いのは「学校教育」で55.9%、「重要である」と「やや重要である」を合わせ《重要である》とした場合、この値は75.3%となる。

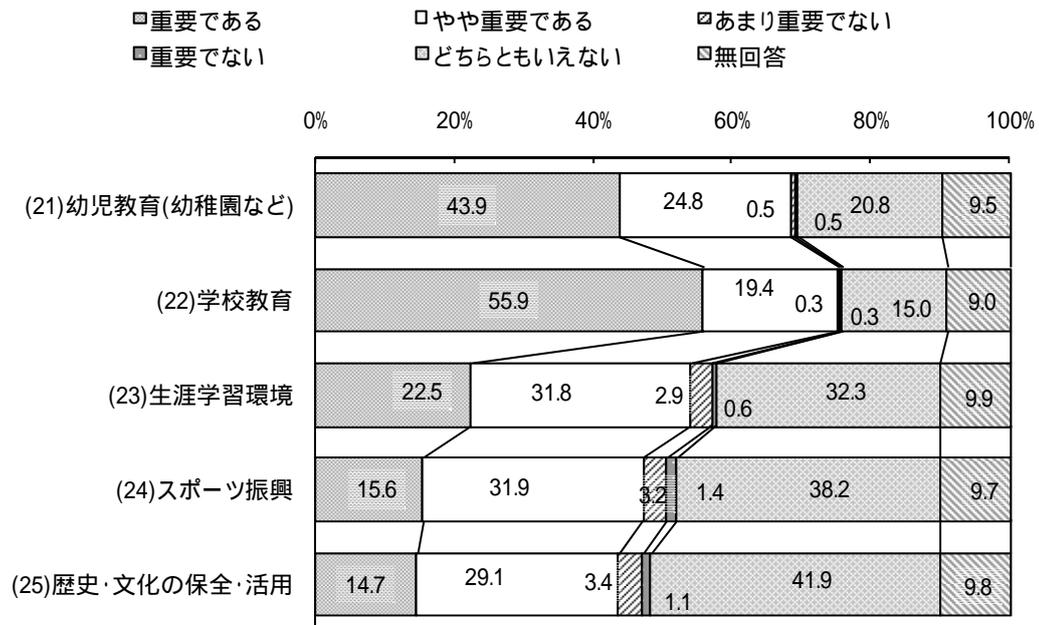
次に《重要である》の割合が高いのは「幼児教育」で、値は68.7%である。

他方で、《重要である》の割合が最も低いのは、「歴史・文化の保全・活用」で、43.8%である。

「スポーツ振興」も《重要である》の割合は低く47.5%であり、2番目に低い。

「生涯学習環境」の《重要である》は54.3%になる。

<重要度 教育・文化> N=1017



<重要度 行財政・まちづくり>

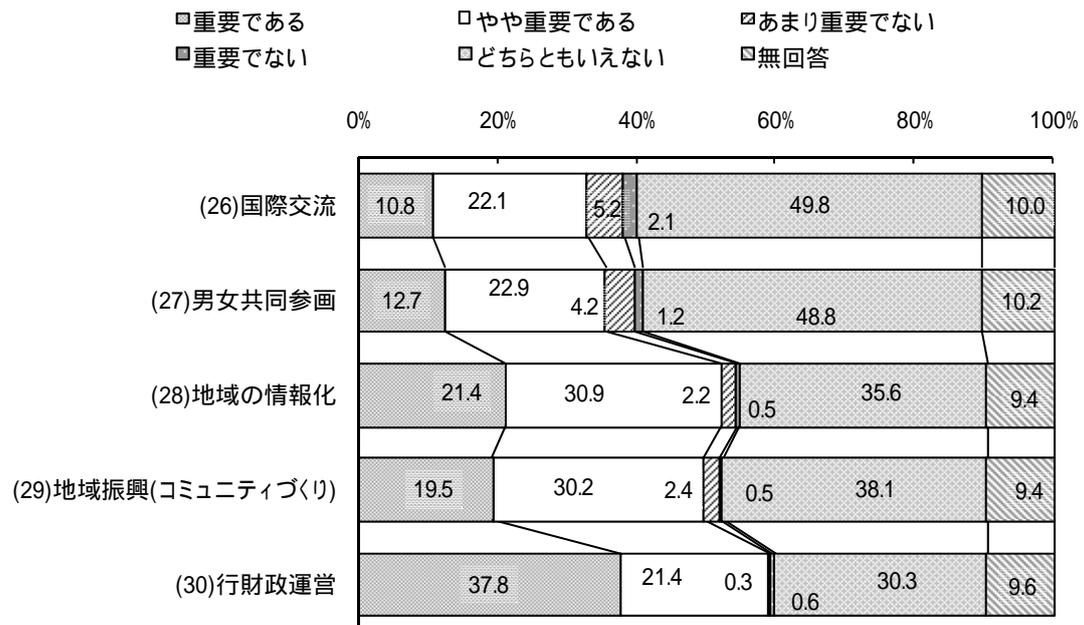
この分野では、「行財政運営」の「重要である」の割合が高く 37.8%であり、これに「やや重要である」を加えたものを《重要である》とすると、この値は 59.2%になる。

他方で、重要性が低いとされているのは、「国際交流」と「男女共同参画」で、「重要である」の値はそれぞれ、10.8%、12.7%である。

「地域の情報化」については、《重要である》が 52.3%である。

「地域振興」については、《重要である》が 49.7%である。

<重要度 行財政・まちづくり> N=1017



<CS 分析>

満足度と重要度の結果から CS 分析（顧客満足度）を行った。手法としては、満足度・重要度それぞれ結果を加重平均し、それぞれ平均点を求め、それぞれの項目を四つのゾーンで位置づけた。

<CS 分析表>

B:重点改善分野(実施手法の検討)満-重+	A:重点維持分野(現状手法での推進)満+重+
生涯学習 スポーツ振興 歴史・文化の保全・活用 男女共同参画 地域振興	保健 子育て支援 水道 ごみ収集・処理 消防 防災 交通安全 防犯 幼児教育 学校教育
D:改善分野(実施手法全体の検討)満-重-	C:維持分野(サービス水準維持)満+重-
公園 鉄道・バス 農業振興 工業振興 商業振興 観光振興 国際交流 ・行財政運営 ・地域の情報化	医療 高齢者への介護・福祉 障害者への支援 道路整備 汚水処理 雇用対策

分析手法を以下に示す。

加重平均の計算式

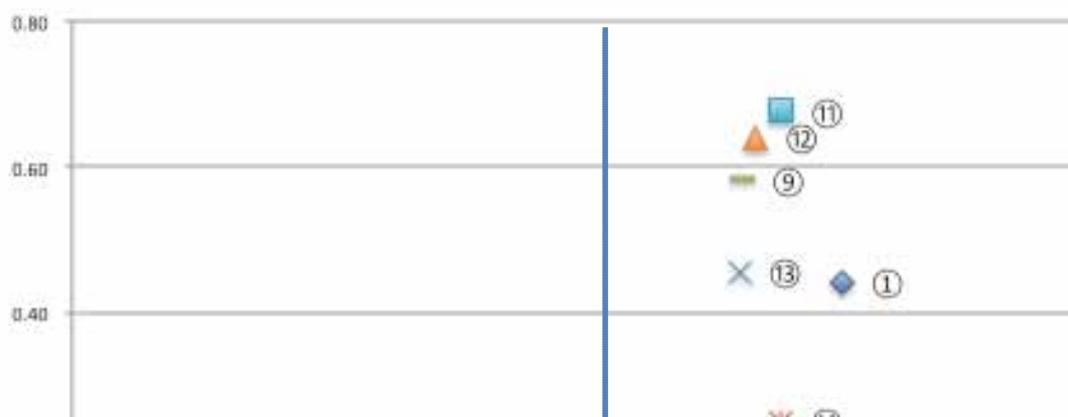
$$\text{満足} \times 2 + \text{やや満足} \times 1 + \text{やや不満} \times -1 + \text{不満} \times -2 / \text{満足} \sim \text{不満までのサンプル数の計}$$

判断する四つのゾーンは以下である。

- ・ Aゾーン(重点維持分野); 現状に対する満足度、これからの重要度が共に高い領域である。方向性・事業手法ともに現状のレベルで取り組むことが望ましい領域である。
- ・ Bゾーン(重点改善分野); 想定的に満足度は低いものの、今後の重要性が比較的高く評価されている領域である。施策・事業の着手や推進策の検討により満足度を高めるための手法の検討が必要とされる領域である。
- ・ Cゾーン(維持分野); 満足度が比較的高い一方、今後の重要性がそれほど評価されていない領域である。実施方法の分析・見直し、周知方法の見直しなどを行い、重要度を改善していくことが望ましい領域である。
- ・ Dゾーン(改善分野); 現状に対する満足度、これからの重要度が共に低い領域である。方向性・事業内容ともに全面的に見直しの必要性がある領域である。

重要度平均

平均 1.08



満足度

平均 0.08

< CS 分析表 >

< 前回調査との比較 >

全体として、重要度はほとんど変化はないが、満足度が上昇している。ほとんどの領域で上昇が見られる。施策別では、防犯、汚水処理、ごみ収集・処理、防災、商業振興で高い満足度の伸びが見られた。

施策	平成17年		平成23年			順位
	重要度平均	満足度平均	重要度平均	満足度平均	満足度前回調査との差	
< 保健医療福祉 >						
保健	1.51	0.40	1.54	0.44	0.05	
医療	1.71	-0.17	1.71	0.05	0.22	
高齢者への介護・福祉	1.49	0.04	1.55	0.03	-0.01	
障害者への支援	1.34	0.02	1.39	0.04	0.03	
子育て支援	1.42	0.10	1.40	0.19	0.09	
平均	1.49	0.08	1.52	0.15	0.07	
< 生活環境 >						
公園	0.90	-0.59	0.81	-0.51	0.09	
道路整備	1.18	-0.31	1.16	-0.21	0.10	
鉄道・バス	0.88	-0.26	0.89	-0.19	0.06	
水道	1.36	0.57	1.34	0.58	0.02	
汚水処理	1.42	-0.44	1.32	-0.20	0.24	
ごみ収集・処理	1.45	0.50	1.42	0.68	0.18	
消防	1.39	0.54	1.36	0.64	0.10	
防災	1.39	0.30	1.33	0.46	0.16	
交通安全	1.43	0.13	1.41	0.25	0.12	
防犯	1.59	-0.22	1.50	0.16	0.37	
平均	1.30	0.02	1.25	0.17	0.14	
< 産業振興 >						
農業振興	0.71	0.03	0.90	0.01	-0.02	
工業振興	0.59	-0.04	0.71	0.00	0.04	
商業振興	0.77	-0.14	0.83	0.00	0.14	
観光振興	0.32	-0.30	0.42	-0.30	0.00	
雇用対策	1.07	-0.39	1.23	-0.32	0.07	
平均	0.69	-0.17	0.82	-0.12	0.05	
< 教育文化 >						
幼児教育	1.26	0.25	1.23	0.20	-0.05	
学校教育	1.51	0.04	1.43	0.16	0.12	
生涯学習	0.88	0.10	0.81	0.11	0.01	
スポーツ振興	0.70	0.19	0.63	0.18	-0.02	
歴史・文化の保全・活用	0.61	0.14	0.59	0.08	-0.06	
平均	0.99	0.14	0.94	0.15	0.00	
< まちづくり・行政改革 >						
国際交流	0.39	-0.05	0.38	-0.07	-0.02	
男女共同参画	0.47	0.07	0.46	0.09	0.02	
地域の情報化	0.82	-0.06	0.78	0.03	0.09	
地域振興	0.73	0.03	0.73	0.09	0.06	
行財政運営	1.10	-0.22	1.06	-0.14	0.09	
平均	0.70	-0.05	0.68	0.00	0.05	
全体平均	1.08	0.01	1.08	0.08	0.08	

< 前回調査比較表 >

問7 あなたは、今後の上里町はどういう方向のまちをめざすべきだと考えますか。
(主なもの3つまでに)

まず、全体としてみたときの順位は、1位「高齢者や子ども、障害者を大切にする福祉のまち」(23.1%)、2位「良好な生活環境の整った住宅のまち」(18.7%)、3位「学校教育や生涯学習が充実した教育と文化のまち」(13.5%)、4位「近代的農業を中心に緑豊かな田園のまち」(11.3%)、5位「商業が盛んで買い物が便利なまち」(11.0%)である。

男女別では、女性の方が「高齢者や子ども、障害者を大切にする福祉のまち」を支持する割合が25.0%と高い(男性は19.6%)。

年齢別の特徴としては、30歳代では「学校教育や生涯学習が充実した教育と文化のまち」の割合が高く17.9%である。

70歳以上では、「高齢者や子ども、障害者を大切にする福祉のまち」の回答者が27.9%と高く、他方で「良好な生活環境の整った住宅のまち」は14.0%と低い値である。

また、20歳代～40歳代については、「商業が盛んで買い物が便利なまち」を選ぶ人が相対的に多く、13.3%、13.0%、13.9%という値である。

<性・年齢別/項目> %	良好な生活環境のまち	高齢者や子ども、障害者を大切にする福祉のまち	台風や大雨、地震などの災害に強いまち	道路や鉄道の交通の便が活	高度な技術の中心にまち	近代的農業を園心に緑	商業が盛んで買い物が	充実した教育と文化の	学校や生涯学習が	スポーツが盛んなまち	その他	無回答
Total (N=2799)	18.7	23.1	9.1	6.3	2.4	11.3	11	13.5	3.1	0.8	0.6	
性別:男 (N=1165)	19.7	19.6	8.8	7.2	3.7	11.8	10.8	12.4	4.2	1.1	0.7	
性別:女 (N=1467)	18.4	25	9.4	5.5	1.5	11	11.2	14.7	2.5	0.4	0.3	
20歳代 (N=271)	19.6	22.1	8.1	6.3	2.6	12.2	13.3	10.7	4.8	0.4	0	
30歳代 (N=391)	18.9	21.5	6.6	5.6	1.5	10.2	13	17.9	3.1	1.3	0.3	
40歳代 (N=402)	20.1	20.4	7	7	2.2	8.5	13.9	14.7	6	0.2	0	
50歳代 (N=559)	22	20.4	10.6	6.4	2.1	10.7	10	13.4	3.2	0.7	0.4	
60歳代 (N=635)	18.9	24.6	9.8	5.8	2.7	12.1	8.5	14.3	1.9	0.9	0.5	
70歳以上 (N=520)	14	27.9	11.2	6.5	3.1	13.7	10	9.8	1.5	0.8	1.5	

網掛け・太字・アンダーラインは各カテゴリーで第1位を、網掛け・太字は第2位を示す。

問8 あなたは現在、「健康」だと思いますか。(1つに)

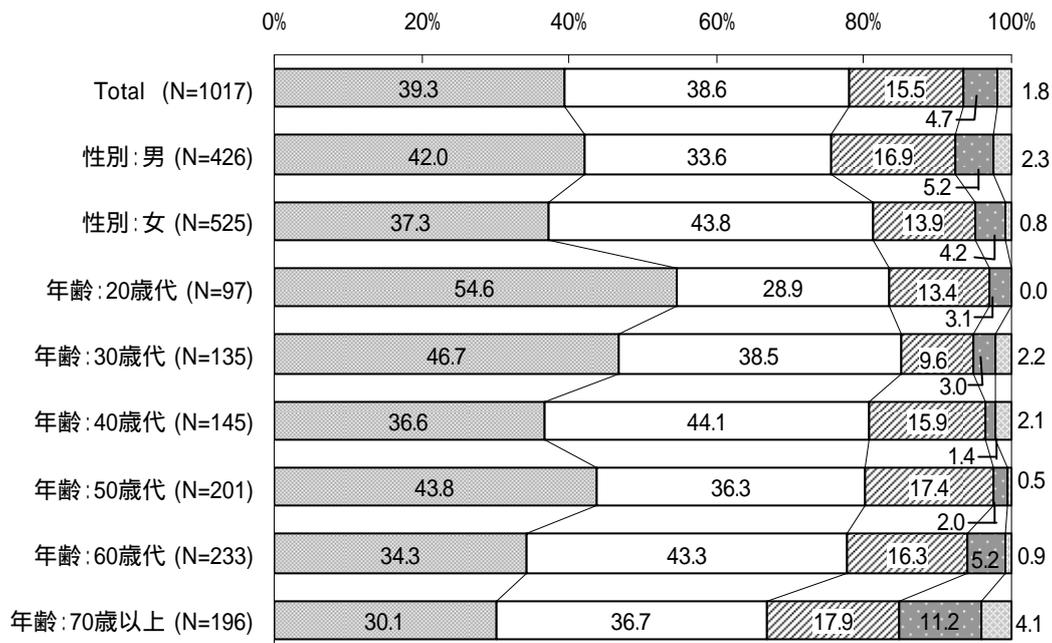
自分が「健康」だと思うか、という点については、全体では「そう思う」が39.3%と最も多く、次いで「ややそう思う」が38.6%となっている。両者を合計した《「健康」だと思う》割合は、77.9%である。

性別で見ると、「女性」に比べ、「男性」で「そう思う」の割合が多くなっているが、《「健康」だと思う》割合は「女性」の方が多くなっている。

年代別で見ると、概ね、若いほど「そう思う」と《「健康」だと思う》の割合が多くなっている。

< 性・年代別 >

□ そう思う □ ややそう思う ▨ あまり思わない □ まったく思わない □ 無回答



問9 問8で「1 そう思う」「2 ややそう思う」とお答えになった方にお伺いします。
 あなたが健康だと感じることができるのは、どういことに気をつけているからだと
 思いますか。(主なもの3つまでに)

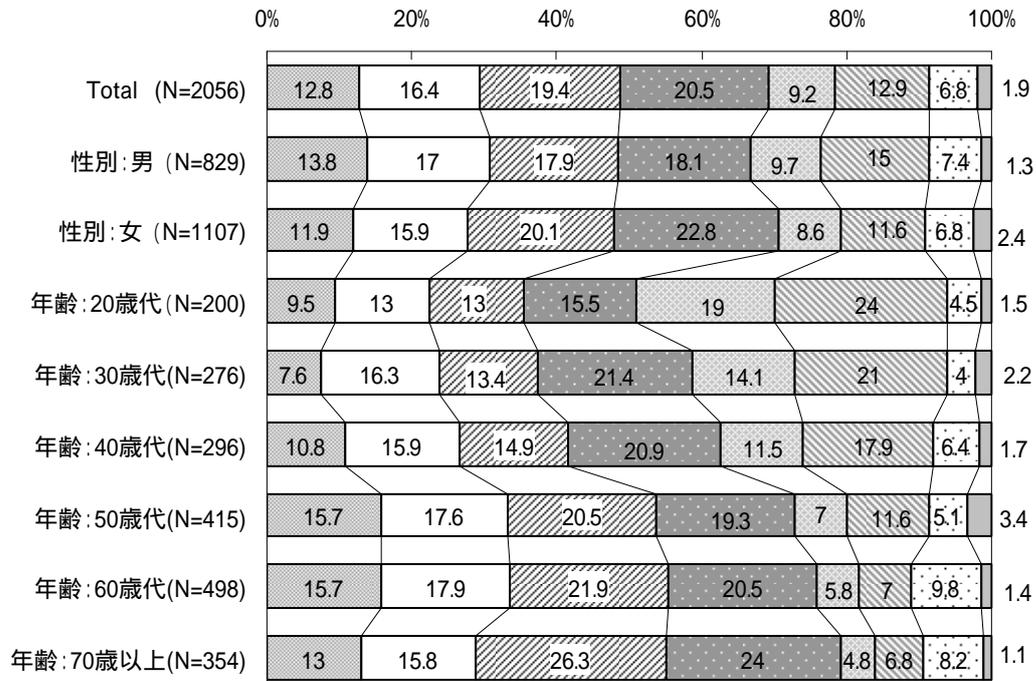
全体として、最も多く選ばれたのは、「規則正しい生活をしているから」(20.5%)、2番目は
 「食事の量やバランスなどに気をつけているから」19.4%である。

男女別では、女性が「規則正しい生活を心がけているから」が22.8%と多い(男性18.1%)。

年齢別では、年齢が上がるほど「規則正しい生活を心がけているから」および「食事の量や
 バランスなどに気をつけているから」の割合が高くなる傾向が見られる。

< 性・年代別 >

- 定期的に運動しているから
- ストレスをためないように気をつけているから
- 食事の量やバランスなどに気をつけているから
- 規則正しい生活を心がけているから
- 酒を飲まない、または飲む量に気をつけているから
- たばこを吸わない、または吸う量に気をつけているから
- 趣味活動や地域活動に積極的に参加する意欲をもっているから
- その他



問 10 問 8 で「3 あまり思わない」「4 まったく思わない」とお答えになった方にお伺いします。あなたが健康だと感じるができないのは、どういうことが原因だと思いますか。(主なものを3つまでに)

健康でない理由の原因について、全体として最も高いのは「定期的に運動をしていないから」「ストレスをためてしまうから」の2つで、いずれも23%となっている。

男女別では、女性は「ストレスをためてしまうから」が高く29.1%である。

年齢別では、20歳代では、「偏食や食事時間の不規則が多いから」の割合がその他の年代より高く16.3%である。30歳代は、「規則正しい生活ができていないから」がその他の年代より高く23.4%である。全般的に年齢が高くなるにつれ、原因はより多様化しているようである。

<性・年齢別 / 項目> %	定期的 に運 動を か し ら て	ス ト レ ス を ま た う め か て ら し	偏 食 や 規 則 が 多 い か ら	規 則 正 し い 生 活 が あ ら な い	酒 を 飲 む か ら	た ば こ を 吸 う か ら	に 趣 味 活 動 に あ ら な い か ら	そ の 他
Total(N=470)	23.0	23.0	7.9	11.3	5.7	5.3	11.3	12.6
男性(N=214)	22	16.4	9.3	12.1	11.2	7.9	9.8	11.2
女性(N=220)	24.1	29.1	6.4	9.5	0	3.2	13.6	14.1
20歳代(N=43)	23.3	16.3	16.3	14	4.7	11.6	7	7
30歳代(N=47)	25.5	27.7	8.5	23.4	4.3	0	2.1	8.5
40歳代(N=57)	24.6	31.6	5.3	1.8	7	7	7	15.8
50歳代(N=92)	23.9	27.2	5.4	13	4.3	7.6	12	6.5
60歳代(N=107)	20.6	22.4	8.4	10.3	5.6	4.7	15	13.1
70歳以上(N=115)	22.6	17.4	7	8.7	7	2.6	15.7	19.1

網掛け・太字・アンダーラインは各カテゴリーで第1位を、網掛け・太字は第2位を示す。

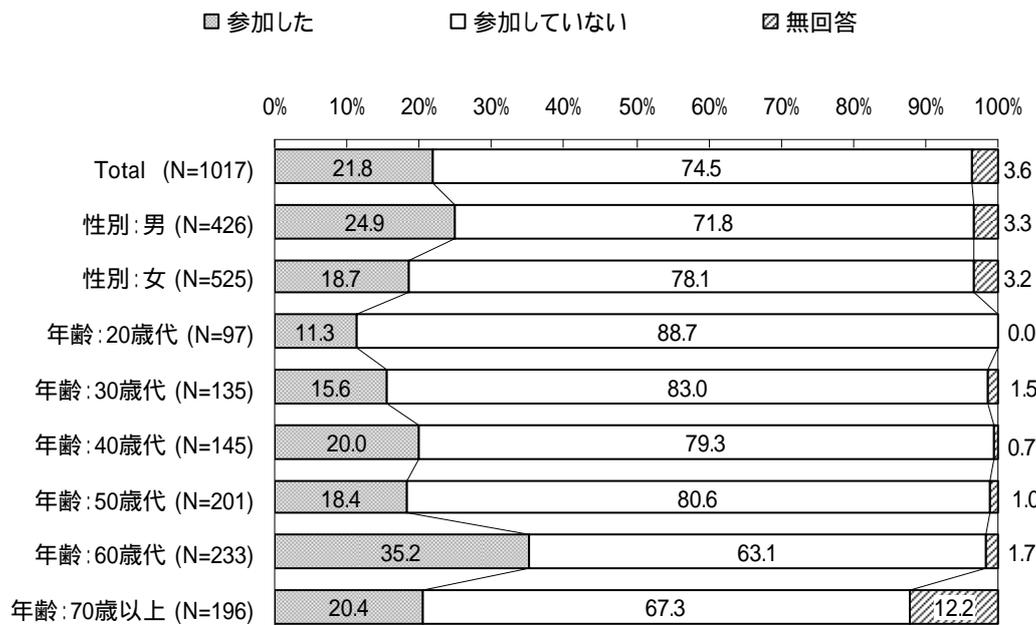
問11 あなたはこの1年間で何らかのボランティア活動に参加しましたか。(1つに)

この1年間でのボランティア参加では、全体では「参加した」が21.8%、「参加していない」が74.5%となっている。

性別で見ると、「女性」に比べ、男性で「参加した」の割合が多くなっている(男性24.9%、女性18.7%)

年代別で見ると、60歳代では「参加した」が35.2%と、他と比べて多く、これに70歳以上が20.4%、40歳代が20.0%、50歳代が18.4%と続く。

< 性・年代別 >



問 12 問 11 で「1 参加した」を選んだ方にお伺いします。どんな分野の活動団体・グループですか。(あてはまるものすべてに)

全体で見ると、最も割合の高い参加ボランティアのカテゴリーは、「地域づくりのための活動」で 26.3%である。その次は「リサイクルなど環境活動」で 17.8%、3 番目は「文化・スポーツなど生涯学習活動」の 12.7%である。

男女別では、「文化・スポーツなど生涯学習活動」の割合が 15.8%と高く(女性は 9.7%)、女性は「子育て支援」の割合が 10.9%と高い。

年齢別では、20 歳代と 50 歳代はより「リサイクル活動など環境運動」が高く(それぞれ 25%、25.4%)、30 歳代では「文化・スポーツなど生涯学習活動」が 17.1%と高い。

<性・年齢別 / 項目> %	健康づくりの活動	高齢者への支援	障害者への支援	子育て支援	文化・スポーツなど生涯学習活動	地域づくりのための活動(自治会活動を含む)	防犯や防災など全生活活動	リサイクルなど環境活動	災害援助活動	その他
Total(N=377)	5.3	8.2	3.4	7.4	12.7	26.3	11.4	17.8	0.8	6.6
性別: 男(N=183)	7.7	5.5	2.2	4.9	15.8	29	12	18.6	1.1	3.3
性別: 女性(N=165)	3.6	10.3	4.8	10.9	9.7	23	9.7	18.8	0	9.1
年齢: 20歳代(N=12)	0	8.3	8.3	16.7	8.3	25	8.3	25	0	0
年齢: 30歳代(N=35)	0	0	2.9	14.3	17.1	28.6	14.3	11.4	0	11.4
年齢: 40歳代(N=50)	6	4	2	8	22	26	4	20	0	8
年齢: 50歳代(N=59)	5.1	8.5	5.1	6.8	13.6	22	8.5	25.4	0	5.1
年齢: 60歳代(N=134)	6	7.5	1.5	6.7	7.5	29.1	14.2	16.4	1.5	9.7
年齢: 70歳以上(N=85)	7.1	14.1	5.9	4.7	14.1	24.7	12.9	14.1	1.2	1.2

網掛け・太字・アンダーラインは各カテゴリーで第1位を、網掛け・太字は第2位を示す。

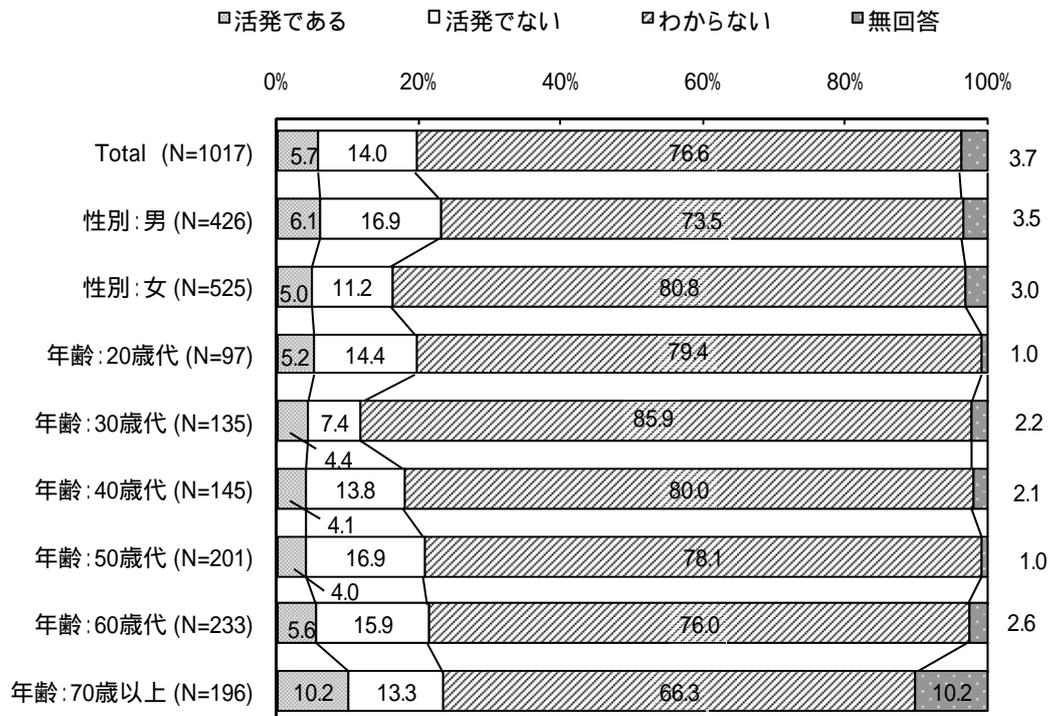
問 13 あなたは、上里町は近隣市町村と比べ、ボランティア活動が活発だと思いますか。
(1つに)

上里町のボランティア活動の評価としては、全体では「活発である」が5.7%、「活発でない」が14.0%、「わからない」が76.6%となっている。

性別で見ると、「女性」に比べ、「男性」で「活発でない」の割合が多くなっている(男性16.9%、女性11.2%)

年代別で見ると、30歳代では「わからない」が85.9%と、他と比べて多くなっている。一方、70歳以上で、「活発である」が他の年代の約2倍である10.2%となっている。

< 性・年代別 >



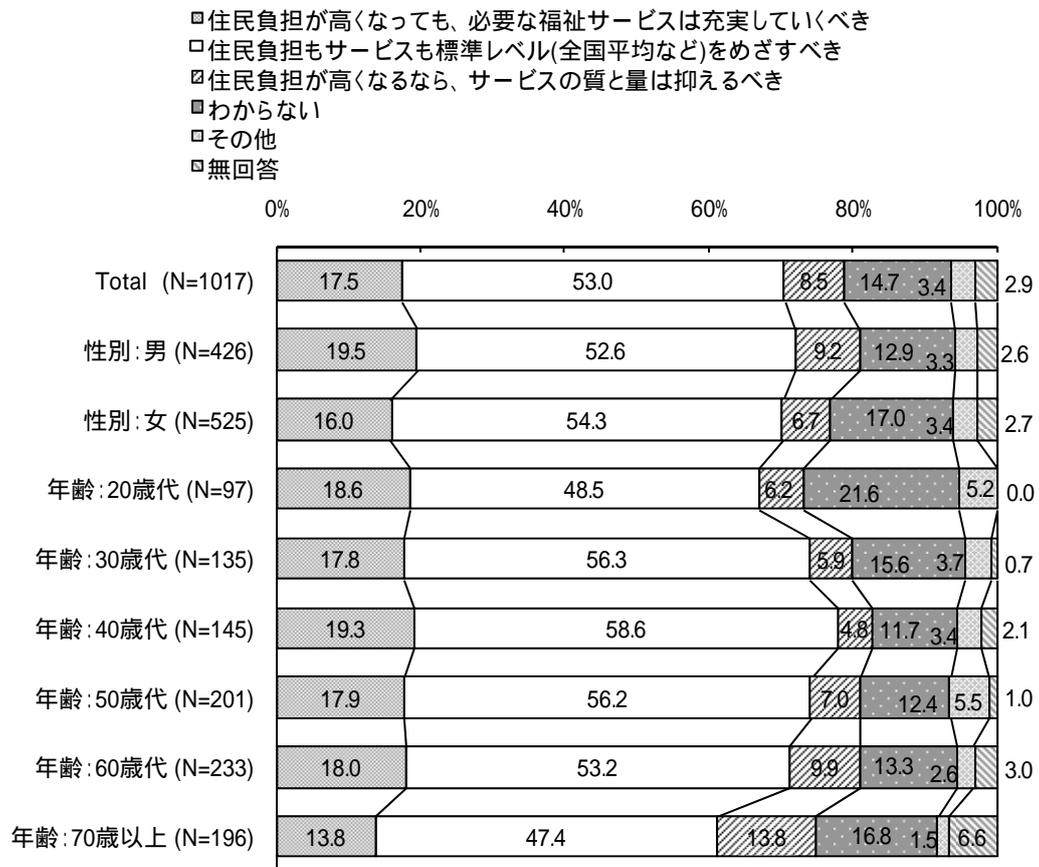
問 14 介護保険サービスや障害者保健福祉サービス、保育サービスなどは、税や介護保険料、保育料などを財源として運営されています。あなたは、このような福祉サービスと住民負担のあり方について、どのようにお考えですか。(1つに)

福祉サービスと住民負担のあり方については、全体では「住民負担もサービスも標準レベル(全国平均など)をめざすべき」が53.0%と最も多くなっており、次いで「住民負担が高くなっても、必要な福祉サービスは充実していくべき」が17.5%となっている。

性別で見ると、「女性」に比べ、「男性」でサービス拡充化と縮小化のいずれかの立場をとる割合が多くなっている。

年代別で見ると、「住民負担が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべき」の値は、若年層の20歳代から、6.2%、5.9%、4.8%、7.0%、9.9%、13.8%となり、40代以降は、年齢とともに増加していく傾向が見て取れる。

<性・年代別>



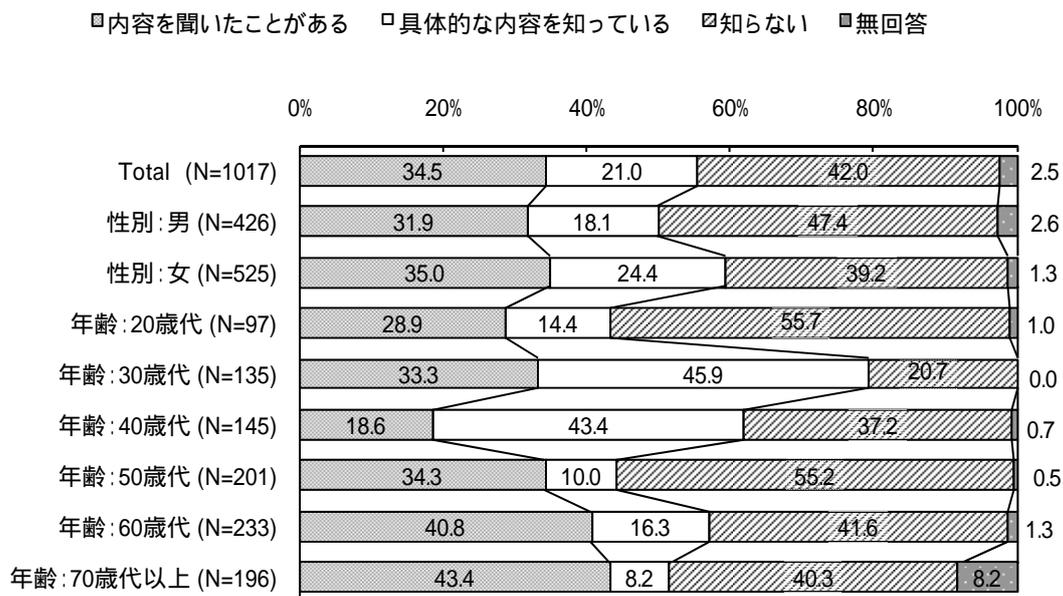
問 15 町では、子ども医療費無料化（対象：中学三年生まで）を平成 22 年 7 月から実施しています。この施策について、ご存知でしたか？（1つに ）

子ども医療費無料化施策の認知度については、全体では「内容を聞いたことがある」が 34.5%、「具体的な内容を知っている」が 21.0%、「知らない」が 42.0%となっている。前 2 者を合計した《施策を知っている》割合は 55.5%である。

性別で見ると、「男性」に比べ、「女性」で《施策を知っている》割合が多くなっている（男性 50.0%、女性 59.4%）

年代別でみると、30 歳代で《施策を知っている》の割合が 79.2%となり、他の年代と比べて最も多くなっている。《施策を知っている》では、40 歳代が 62.0%で続く一方で、20 歳代が 43.3%、50 歳代 44.3%と、他の世代に比べて低い値となっている。

< 性・年代別 >



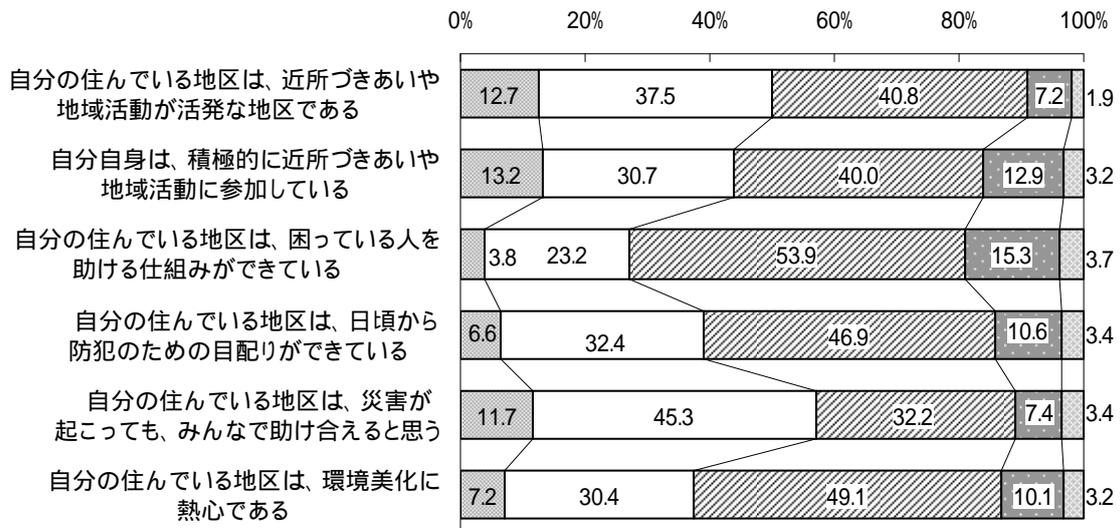
問 16 あなたの住んでいる地域に対して以下のことをどう感じていますか。

自分が住んでいる地域に対する認識としては、 の災害時の助け合いでは「ややそう思う」の割合が高く、「あまり思わない」が続いている。それ以外の項目では、すべて「あまり思わない」の割合が最も高く、「ややそう思う」が続いている。

「そう思う」と「ややそう思う」を合計した《そう思う》は、 と で50%を超えている(50.2%、 57.0%)。

<自分の住んでいる地域について> N=1017

■ そう思う □ ややそう思う ▨ あまり思わない ■ まったく思わない □ 無回答

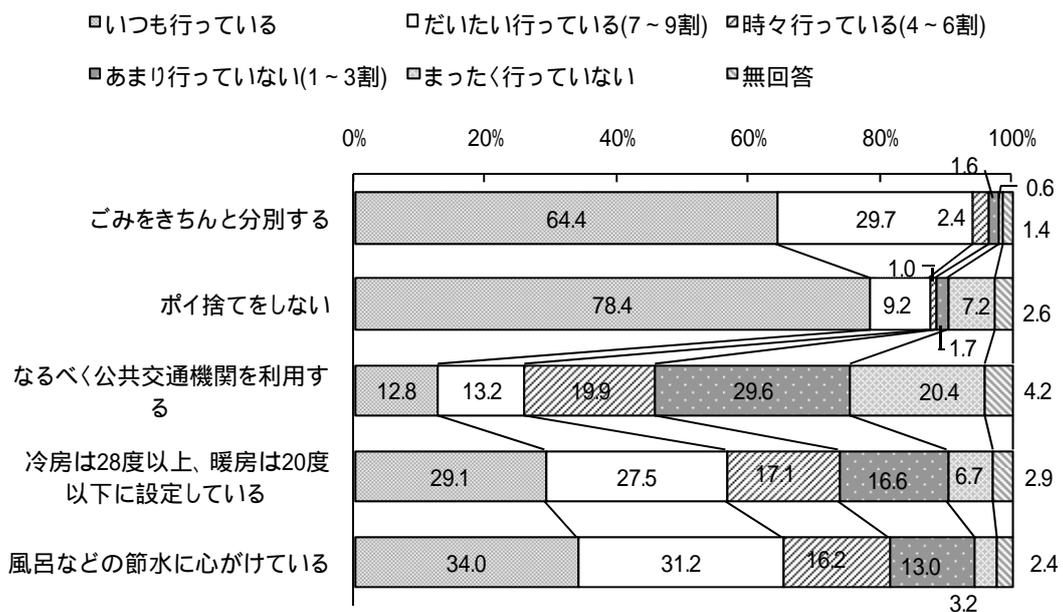


問17 あなたは、環境にやさしい生活のために次のことを実践していますか。(それぞれ1つに)

環境にやさしい生活のために実践していることとして、「いつも行っている」割合が最も高いのは「ポイ捨てをしない」で78.4%である。他方で、「いつも行っている」と「だいたい行っている」を合わせたものを《行っている》とすると、最もこの割合が高いのは「ゴミをきちんと分別する」で、94.1%の人々が行っている。

また、「公共交通機関を利用する」は、《行っている》割合が26.0%と最も低い値となっている。

< 環境問題について > N=1017

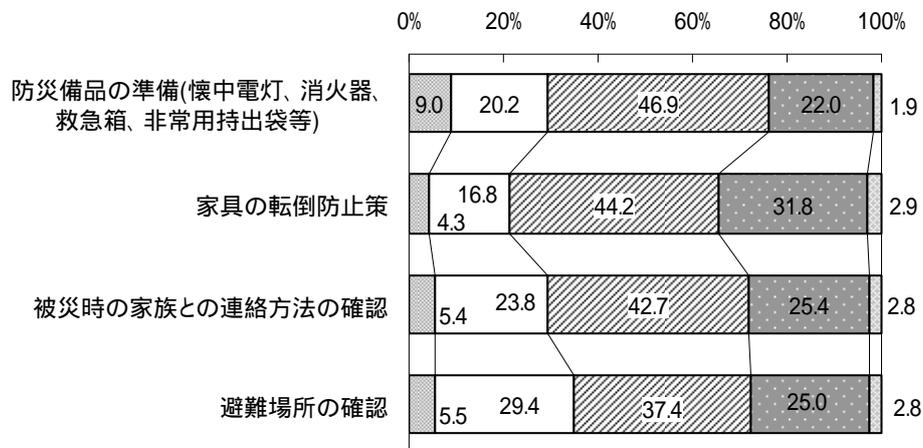


問 18 あなたは、災害への備えのために次のことを実践していますか。(それぞれ1つに)

防災については、 から のいずれについても、「あまり行っていない」の割合が最も高く40%前後、「いつも行っている」の割合が最も低く一桁台となっている(「無回答」を除く)。「まったく行っていない」の割合が最も高いのは、「家具の転倒防止策」で31.8%である。

< 防災について > N=1017

□いつも行っている □行っている ▨あまり行っていない ■まったく行っていない □無回答



問 19 あなたは、町内や近隣の交通手段として、どのような取り組みが充実すればいいと思いますか。(主なもの3つまでに)

全体としてみたとき、最も多くの人を選んだのは「高崎線の利便性の確保」の23.1%である。次は、「障害者や高齢者などのための送迎サービスの充実」の18.3%、そして次は「町内と本庄や藤岡の市街地を結ぶ公共交通の確保(以下「町内と本庄の交通」)」で14.7%であった。

男女別で見ると、女性の方が「障害者や高齢者などのための送迎サービスの充実」を20.5%の人が選び、男性のそれより高かった。

年齢別では、20歳代から40歳代は「高崎線の利便性の確保」を選ぶ人が多く、27%から28%の割合をとっている。逆に、60歳代や70歳以上の世代では、「障害者や高齢者などのための送迎サービスの充実」を選ぶ人が多く、それぞれ19.3%、26%いた。

<性・年齢別 / 項目> %	高崎線の利便性の確保	民間バス(本庄市の等保)	八高線の利便性の確保	町内福祉巡回バスの拡充	町内と本庄や藤岡の市街地を結ぶ公共交通の確保	町内と本庄や早稲田の駅を結ぶ公共交通の確保	障害者や高齢者などのための送迎サービスの充実	前予タ約の型タクシー・低料金の乗合タクシー	その他	無回答
Total (N=2498)	23.1	11.3	2	10	14.7	10.2	18.3	7.4	1.4	1.6
性別:男 (N=1056)	24.4	11.5	2.4	9.4	15.3	11	15.7	7.1	1.7	1.5
性別:女 (N=1286)	22.5	11.1	1.7	10.4	13.9	10	20.5	7.5	1.2	1.2
年齢:20歳代 (N=239)	28	14.6	3.8	5.9	16.3	12.6	12.6	3.3	2.5	0.4
年齢:30歳代 (N=324)	27.2	12	2.5	10.8	11.4	13	16	4.9	1.5	0.6
年齢:40歳代 (N=366)	27.9	15.3	1.6	9	15	14.5	11.7	4.1	0.8	0
年齢:50歳代 (N=490)	24.1	8.2	1.4	12	14.3	11	18.4	7.6	2.2	0.8
年齢:60歳代 (N=581)	20.7	10.2	2.1	9	15	9.5	19.3	11	1.2	2.2
年齢:70歳以上 (N=480)	16.3	11	1.3	11.7	15.6	4.4	26	9.2	0.8	3.8

網掛け・太字・アンダーラインは各カテゴリーで第1位を、網掛け・太字は第2位を示す。

問 20 あなたは、高度情報化社会に対応するため、町では今後どのような取り組みを重視すべきだと思いますか。(主なもの2つまでに)

全体としてみると、35.4% を集めた「保健・医療・福祉、生涯学習・文化スポーツをはじめとする多様な分野での情報サービスの提供(以下「情報サービスの提供」)」が、重視されている。

男女別では、男性は「申請・届出等手続きの電子化など住民サービスのネットワーク化」の割合が相対的に高く、女性では「情報サービスの提供」が相対的に高い割合である。

年齢別では、20歳代から40歳代では「町ホームページの充実などインターネット等を通じた情報提供の充実」が高くほぼ15%前後であるのにたいし、60歳以上の人は、8.4%、7.9%と低い値である。

<性・年齢別 / 項目> %	高度情報通信網の整備促進など	町ホームページの充実など	住民サービス等手続きの電子化など	多様な分野での情報サービスの提供	保健・医療・福祉、生涯学習・文化スポーツ	学校教育・生涯学習などの充実	情報化に対応した個人情報保護	その他	無回答
Total (N=1777)	11.6	12.2	14.3	35.4	11.6	10.2	1	3.6	
性別:男 (N=751)	14.2	12.8	17.2	31.4	10.3	10.1	0.8	3.2	
性別:女 (N=909)	8.9	11.8	12.9	37.8	13.3	10.6	1.1	3.6	
年齢:20歳代 (N=176)	10.2	15.3	19.9	29	14.8	9.7	1.1	0	
年齢:30歳代 (N=246)	11.8	16.7	14.6	28	16.7	11	0.4	0.8	
年齢:40歳代 (N=258)	10.5	15.5	15.1	35.7	10.5	10.9	0.8	1.2	
年齢:50歳代 (N=351)	10.5	13.4	17.7	34.2	10.3	10.8	1.4	1.7	
年齢:60歳代 (N=403)	12.4	8.4	12.4	41.2	10.9	8.7	1.5	4.5	
年齢70歳以上 (N=329)	13.4	7.9	9.7	38	10	11.2	0.3	9.4	

網掛け・太字・アンダーラインは各カテゴリーで第1位を、網掛け・太字は第2位を示す。

問 21 あなたは、町の農業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(主なものを3つまでに)

全体としてみたときに、最も重要だと思われる施策は22.4%の「農業後継者の育成」であり、その次は12.5%で「農道、用・排水施設の整備や農地整備など生産基盤の充実」、そして3番目は「地場特産品の開発、主産地形成の促進」である。

年齢別では、若年層のほうが、「農業後継者育成」の割合が若干高くなっている。「地場特産品の開発、主産地形成の促進」や「低農薬・有機栽培など環境にやさしい農業の振興」は40歳代から60歳代を中心に若干ではあるが割合が高い。

<性・年齢別 / 項目> %	備農 や道、 農地 整備・ 排水 施設 の充 実	優 良農 地の 保 全	託農 地な どの 集約 による 経営 規模 の大 拓	農地 の育 成や 農作 業の 強 化	農 業 後 継 者 の 育 成	的 先 導 入 ス テ ム の 導 入 な ど	先 端 農 業 技 術 な ど の 積 極 的 な 取 組 み	地 場 特 産 品 の 開 発 、 主 産 地 形 成 の 促 進	農 畜 産 物 を 利 用 し た 食 品 の 開 発	体 験 農 業 、 民 農 園 な ど の 振 興	境 に や さ し い 農 業 の 振 興	低 農 薬 ・ 有 機 栽 培 な ど の 環 境 に よ う な 農 業 の 振 興	地 産 地 消 の 推 進 な ら び に 確 立	現 状 の ま ま で よ い	そ の 他	無 回 答
Total (N=1867)	12.5	7.2	8.5	8.7	22.4	3.8	10.5	3.7	6	7.9	2.9	1.6	0.7	3.4		
性別:男 (N=780)	13.8	8.8	9.7	9.6	22.6	4.1	9.7	2.6	4.1	6.5	2.3	1.9	1	3.1		
性別:女 (N=966)	11.7	6	7	7.8	22.5	3.2	11.1	4.8	7.9	9.5	3.3	1.2	0.6	3.4		
年齢:20歳代 (N=183)	16.4	8.7	5.5	10.4	24.6	4.4	8.2	5.5	6	6	3.3	0.5	0	0.5		
年齢:30歳代 (N=254)	13	6.7	5.5	7.9	24.4	3.5	11	4.3	10.2	7.1	3.9	0.8	0.8	0.8		
年齢:40歳代 (N=263)	9.5	6.5	5.3	7.6	24.3	3.8	10.6	5.3	6.5	9.1	5.3	3.8	1.1	1.1		
年齢:50歳代 (N=374)	7.5	4	11.5	10.4	23.5	3.5	13.1	4.3	6.1	8.6	2.7	1.6	0.5	2.7		
年齢:60歳代 (N=426)	14.6	6.8	10.3	8.9	19	2.6	11.7	2.6	5.2	9.6	2.3	0.9	1.4	4		
年齢:70歳以上 (N=351)	15.4	11.7	9.4	7.1	21.4	5.1	6.8	1.7	3.4	6.3	1.1	2	0.3	8.3		

網掛け・太字・アンダーラインは各カテゴリーで第1位を、網掛け・太字は第2位を示す。

問 22 あなたは、町の商業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(主なものを2つまでに)

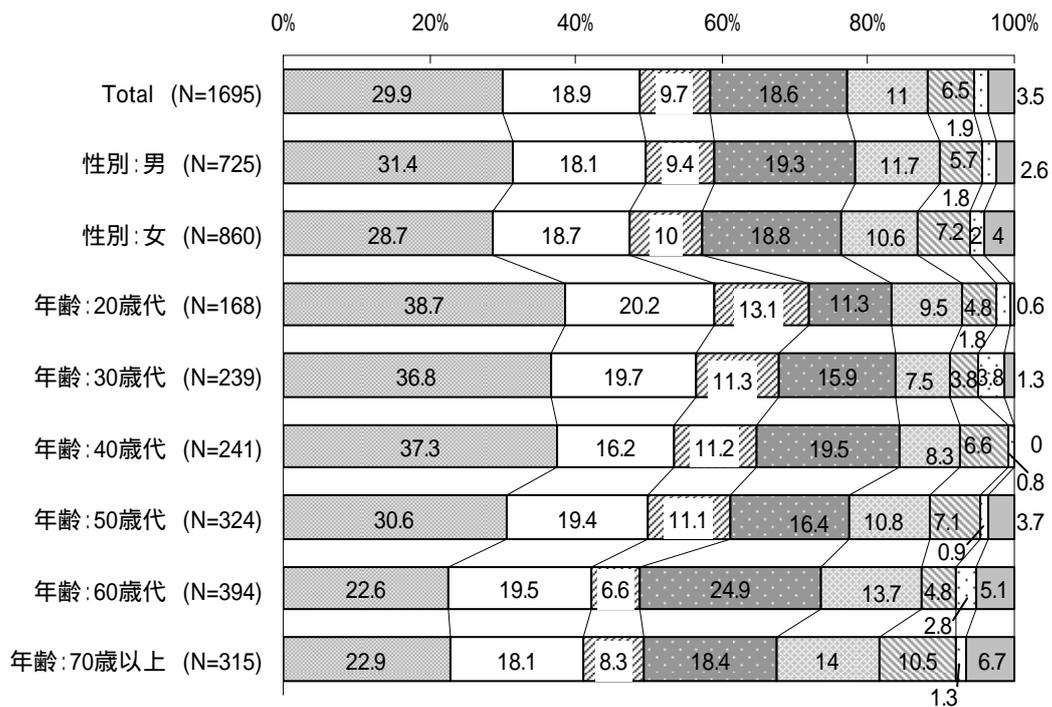
全体としてみると、最も力を入れるべきと考えられているのは「神保原駅周辺や国道 17 号沿線の商業環境の整備」で 29.9%である。次は、「上里サービスエリアでの地元商業者の店づくりの推進」が 18.9%、3 番目は「商業経営の近代化やサービスの向上のための支援の充実」で 18.6%である。

男女別では、男性のほうが少しではあるが「神保原駅周辺や国道 17 号沿線の商業環境の整備」の割合が高い。

年齢別に見ると、20 歳代から 50 歳代までは「神保原駅周辺や国道 17 号沿線の商業環境の整備」の割合が高い。また、同じ世代で「大規模な店舗の誘致」も相対的に割合が高い。

< 性・年代別 >

- 神保原駅周辺や国道17号沿線の商業環境の整備
- 上里サービスエリアでの地元商業者の店づくりの推進
- ▨ 大規模な店舗(スーパー、デパートなど)の誘致
- 商業イベントの開催や消費者サービスなどの販売促進対策の充実
- 商業経営の近代化やサービスの向上のための支援の充実
- ▨ 現状のままでよい
- その他
- 無回答



問 23 あなたは、町の工業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(主なものを2つまでに)

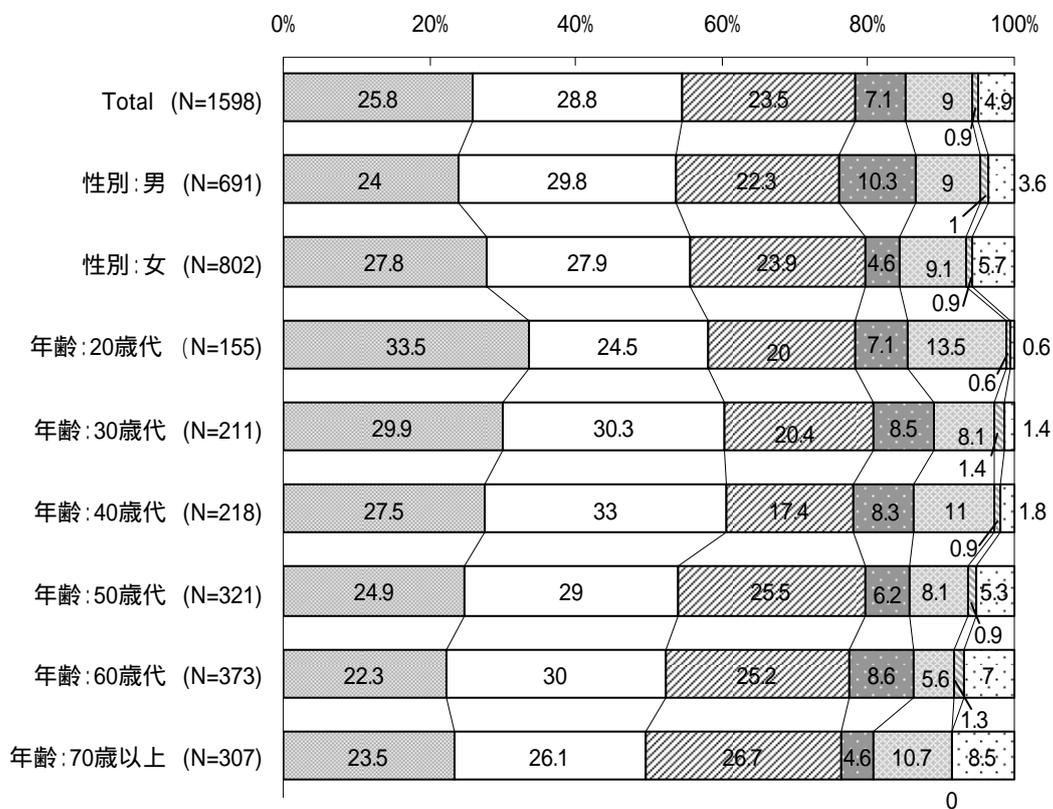
全体としては、町の工業の振興のために、最も力を入れるべきものとして「上里サービスエリア周辺地区への工業用地の整備と優良企業の誘致」が28.8%で選ばれている。つぎに割合が高いのは「既存企業の育成・振興」で25.8%、そして3つ目に「起業家への支援や新産業の開発・育成」が23.5%で続く。

男女別では、女性のほうが「既存企業の育成・振興」の割合が高い(女性27.8%、男性24.0%)。

年齢別では、若年層ほど「既存企業の育成・振興」の比率が高く、逆に高齢になるほど「起業家への支援や新産業の開発・育成」の比率が高くなる傾向が見られる。

< 性・年代別 >

- 既存企業の育成・振興
- 上里サービスエリア周辺地区への工業用地の整備と優良企業の誘致
- ▨ 起業家への支援や新産業の開発・育成
- 既存企業の集約等による住工混在の解消
- 現状のままでよい
- ▨ その他
- 無回答



問 24 あなたは、町の観光・レクリエーション開発・振興のために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(主なもの2つまでに)

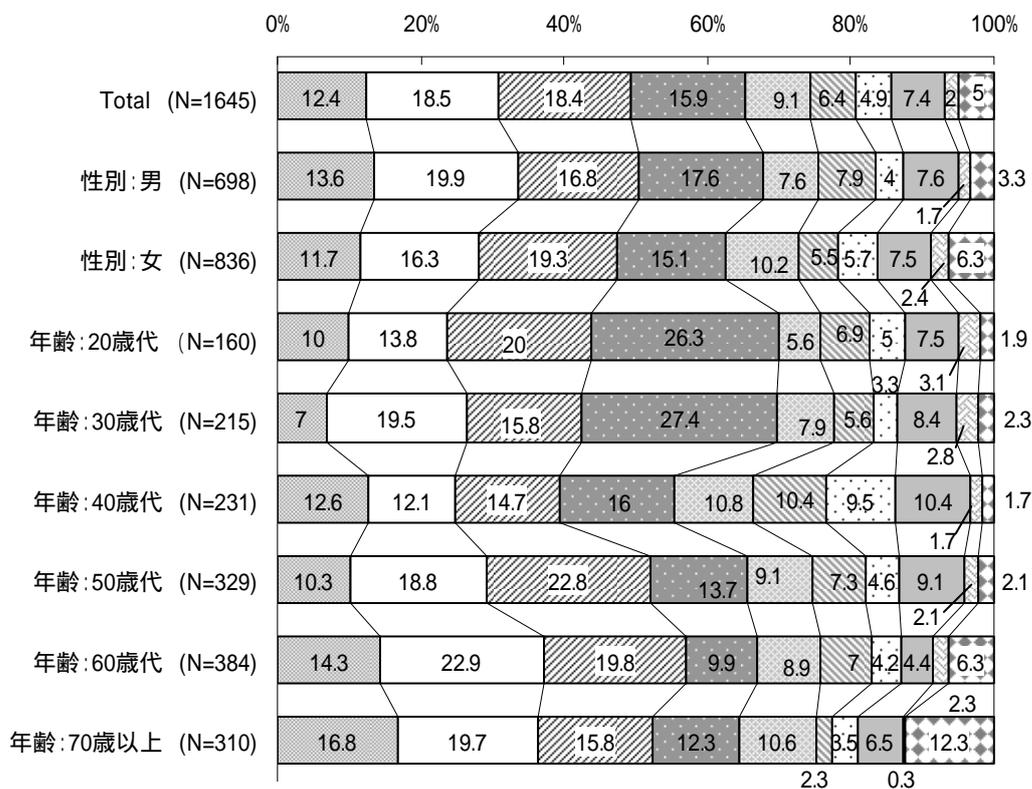
全体としてみたときに、最も選ばれた回答は「河川を利用した水と緑にふれあえる観光機能の充て(以下「河川利用観光」)」で18.5%である。これとほぼ同じ値であるが、つぎに多く選ばれたのは「観光農業などまちの産業と連携した観光機能の充て(以下「観光農業」)」で18.4%である。3つめは「イベントや祭りの内容の充実・町のイメージキャラクターの作成で(以下「イベント・イメキャラ」)」で15.9%の人に選ばれた。

男女別では、男性は「河川利用観光」をより選ぶ傾向があるのに対し、女性は「観光農業」をより選ぶ傾向がある。

年齢別では、20歳代・30歳代では「イベント・イメキャラ」をより選ぶ傾向が見られる。

< 性・年代別 >

- まちの歴史・文化をテーマとした観光機能の充実
- 河川を利用した水と緑にふれあえる観光機能の充実
- ▨ 観光農業などまちの産業と連携した観光機能の充実
- イベントや祭りの内容の充実・町のイメージキャラクターの作成
- わかりやすい観光案内板の整備
- ▨ 広域的な連携による観光ルートの設定
- モデル的な観光ルートマップの作成
- ▨ 観光開発は、自然環境や生活環境の悪化につながりかねないので進めるべきではない
- その他
- 無回答



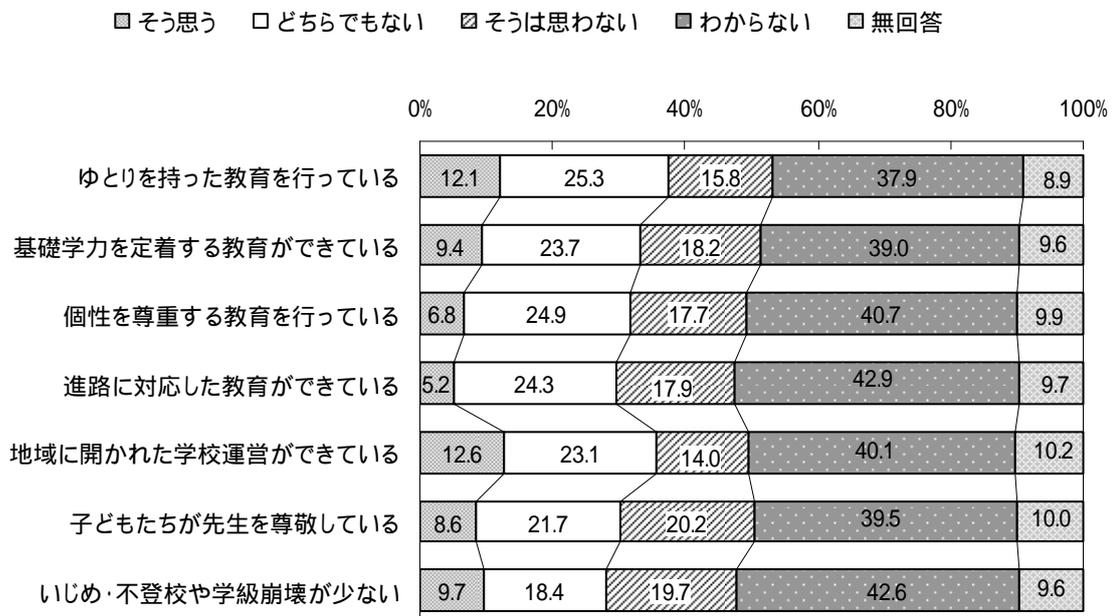
問 25 町の小学校・中学校の教育について、どう感じていますか。(それぞれ1つに)

学習については、 から では、それぞれ「わからない」の割合が最も高く、「どちらでもない」が続いている。「 いじめ・不登校や学級崩壊が少ない」の項目では、「わからない」の割合が最も高く、「そうは思わない」が続いている。

また、いずれの項目でも「そう思う」の割合よりも「そう思わない」の割合のほうが高くなっている。

学校の基本的な役割の一つである「 基礎学力を定着する教育ができています」については、「そう思う」は9.4%、「そう思わない」18.2%、「わからない」39.0%となっている。

< 学校教育について > (N=1017)



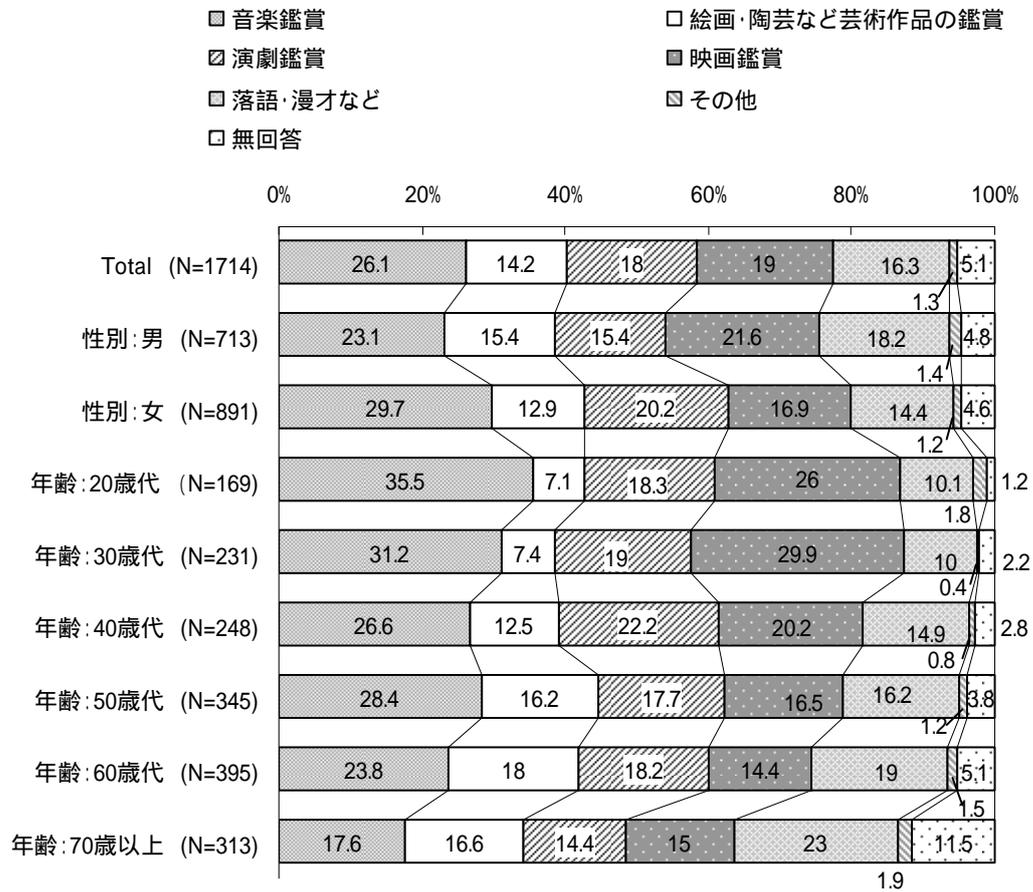
問 26 町内で実施される文化・芸術鑑賞では、どういった分野を充実してほしいですか。(主なもの2つまでに)

全体として最も選ばれた回答は、「音楽鑑賞」で 26.1% である。2 番目は「映画鑑賞」で 19.0%、3 番目は「演劇鑑賞」の 18.0%であった。

男女別では、女性のほうがより「音楽鑑賞」を好み、男性は「映画鑑賞」や「演劇鑑賞」を好む傾向が見られる。

年齢別では、若年層ほど「音楽鑑賞」を好む傾向が見られる。また、「絵画・陶芸など芸術作品の鑑賞」は 50 歳代以上の層が好む傾向が見られる。

< 性・年代別 >



問 27 あなたは、外国人と何らかの交流（親しくつきあう、お世話をするなど）をしたことがありますか。（1つに ）

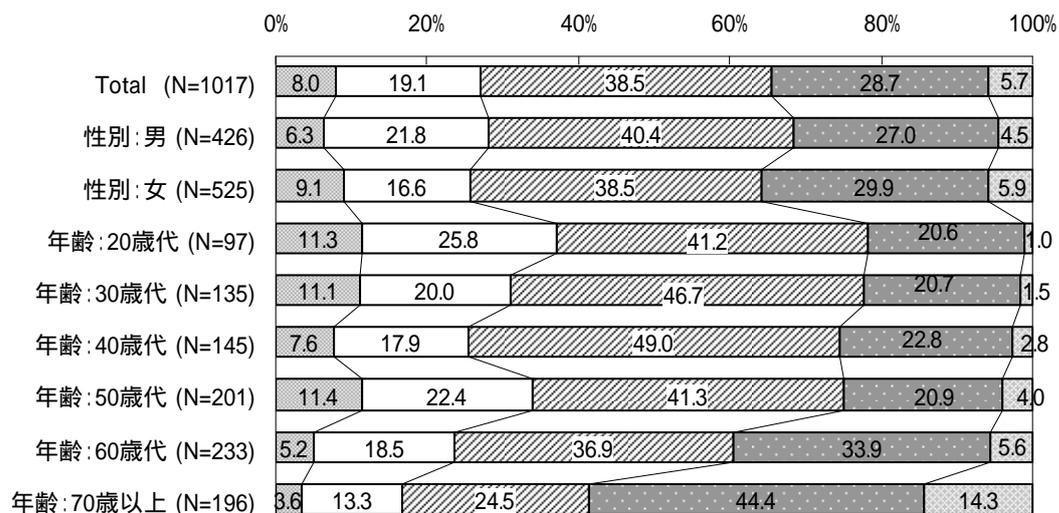
外国人との交流については、全体では「外国人と交流したことはないが、今後はしてみたい」の割合が38.5%と最も高く、次いで「外国人と交流したことはないし、今後もしたくない」が28.7%となっている。「現在、外国人と交流している」と「以前、外国人と交流したことがある」を合計した《外国人との交流経験がある》割合は、27.1%である。

性別で見ると、「女性」に比べ、「男性」で《外国人との交流経験がある》割合が高くなっている（男性28.1%、女性25.7%）。また、今まで交流経験がない人の今後の交流希望も、「男性」の方が積極的である。

年代別で見ると、20歳代が《外国人との交流経験がある》割合が37.1%と全年代中最も高く、次いで50歳代が33.8%となっている。また、年齢が60歳以上では「外国人と交流したことはないし、今後もしたくない」の割合が高くなっている。

< 性・年代別 >

- 現在、外国人と交流している
- 以前、外国人と交流したことがある
- ▨ 外国人と交流したことはないが、今後はしてみたい
- 外国人と交流したことはないし、今後もしたくない
- 無回答



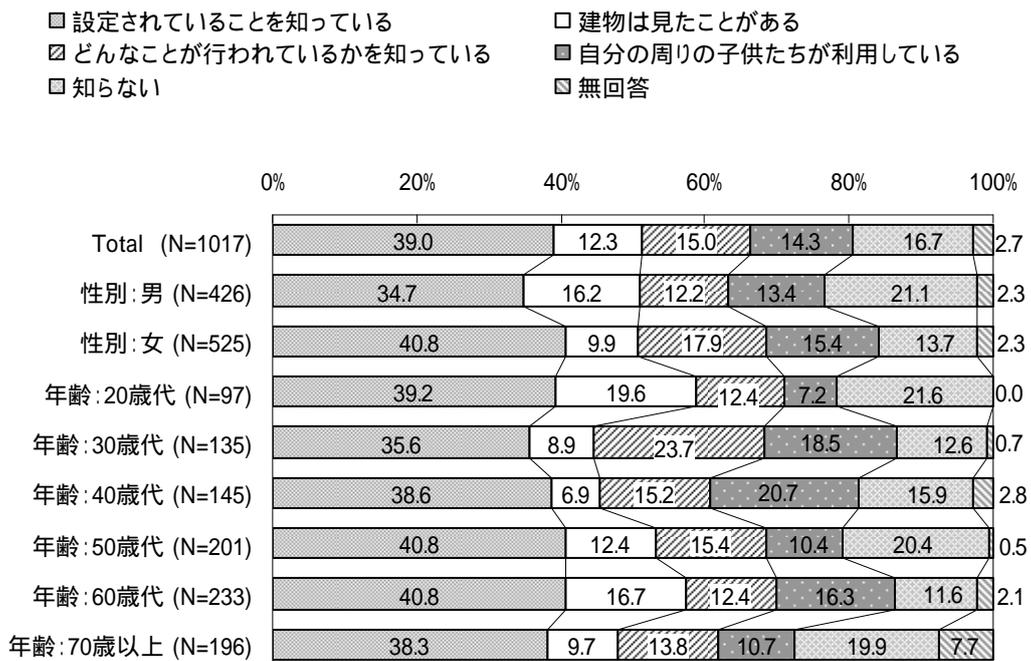
問 28 町では小学校全地区に「児童館」を設置しています。これらについてお伺いします。
(1つに)

「児童館」の認知度については、全体では「設定されていることを知っている」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「どんなことが行われているかを知っている」が 15.0%となっている。この2つに「建物は見たことがある」と「自分の周りの子どもたちが利用している」を合計した《「児童館」を知っている》割合は 80.6%である。

性別で見ると、「男性」に比べ、「女性」で《「児童館」を知っている》割合が高くなっている(男性 76.5%、女性 84.0%)。

年代別で見ると、30 歳代の《「児童館」を知っている》割合が 86.7%で全世代中最も高く、60 歳代が 86.2%で続いている。

< 性・年代別 >

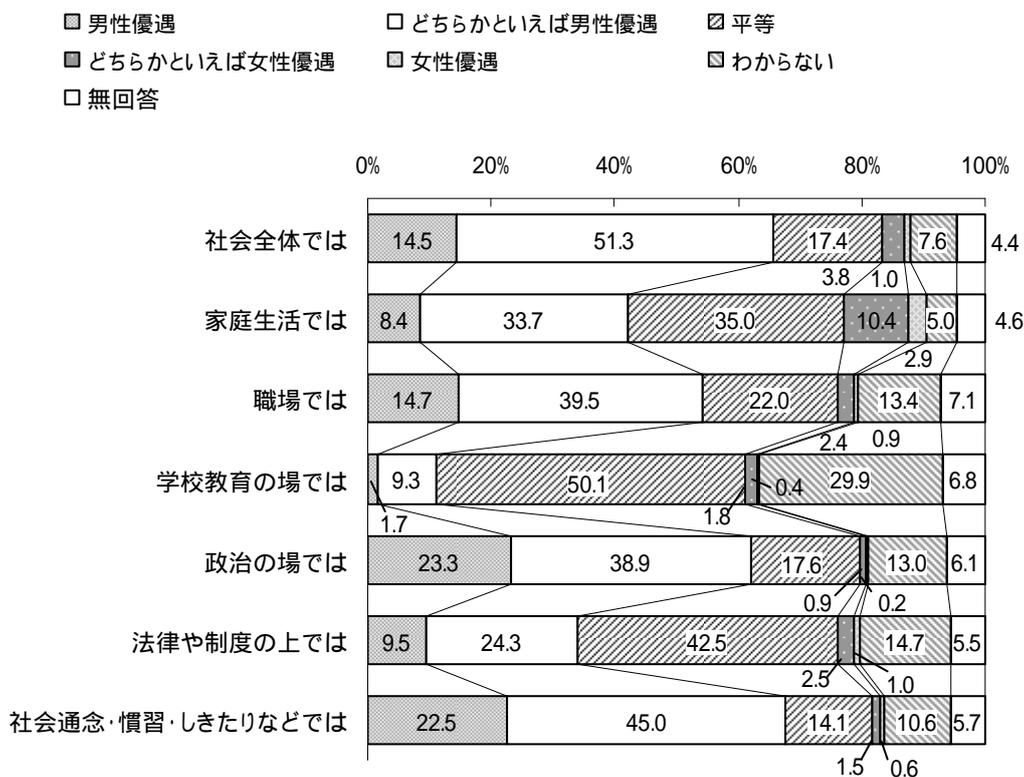


問 29 あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
 ~ のそれぞれについて、どちらかが優遇されている、または平等と思うという
 1～6の番号に をつけてください。

男女の平等については、社会全体では「どちらかといえば男性優遇」の割合が51.3%と最も高く、次いで「平等」が17.4%となっている。家庭生活では「平等」の割合が35.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性優遇」が33.7%となっている。職場では「どちらかといえば男性優遇」の割合が39.5%と最も高く、次いで「平等」が22.0%となっている。学校教育の場では、「平等」が50.1%と最も高く、次いで「わからない」が29.9%となっている。

政治の場では、「どちらかといえば男性優遇」が38.9%と最も高く、次いで「男性優遇が」23.3%となっている。法律や制度の上では、「平等」が42.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性優遇」が24.3%となっている。社会通念・慣習・しきたりなどでは、「どちらかといえば男性優遇」が45.0%と最も高く、次いで「男性優遇」が22.5%となっている。

<男女平等について> (N=1017)



問 30 町では平成 22 年に「かみさと 男女平等参画推進プラン」を策定しました。これについてお伺いします。(1 つに)

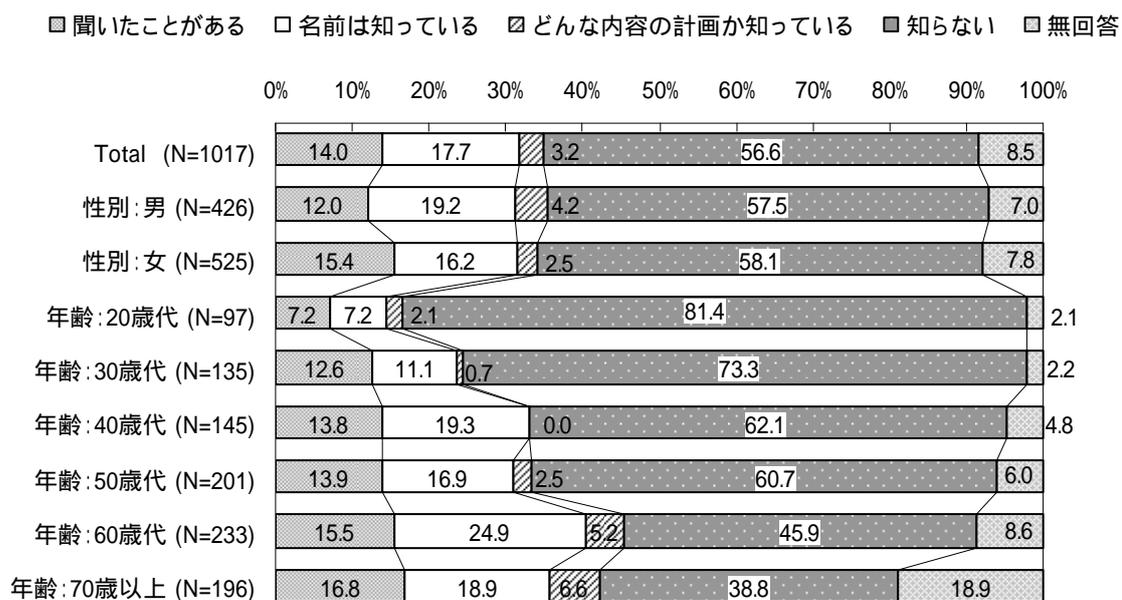
「かみさと 男女平等参画推進プラン」の認知度については、全体では「知らない」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「名前は知っている」が 17.7%となっている。「聞いたことがある」「名前は知っている」「どんな内容の計画か知っている」を合計した《プランの存在を知っている》割合は 34.9%である。

性別で見ると、「女性」に比べ、「男性」で「どんな内容の計画か知っている」の割合が高くなっている(男性 4.2%、女性 2.5%)

年代別で見ると、概ね、年齢が高くなるほど《プランの存在を知っている》割合が高くなっている。

また、70 歳以上を除くと、どの年代でも《プランの存在を知っている》割合が「知らない」割合を下回っている。

< 性・年代別 >



問 31 今後、あなたが、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要だと思うことは何でしょうか。(1つに)

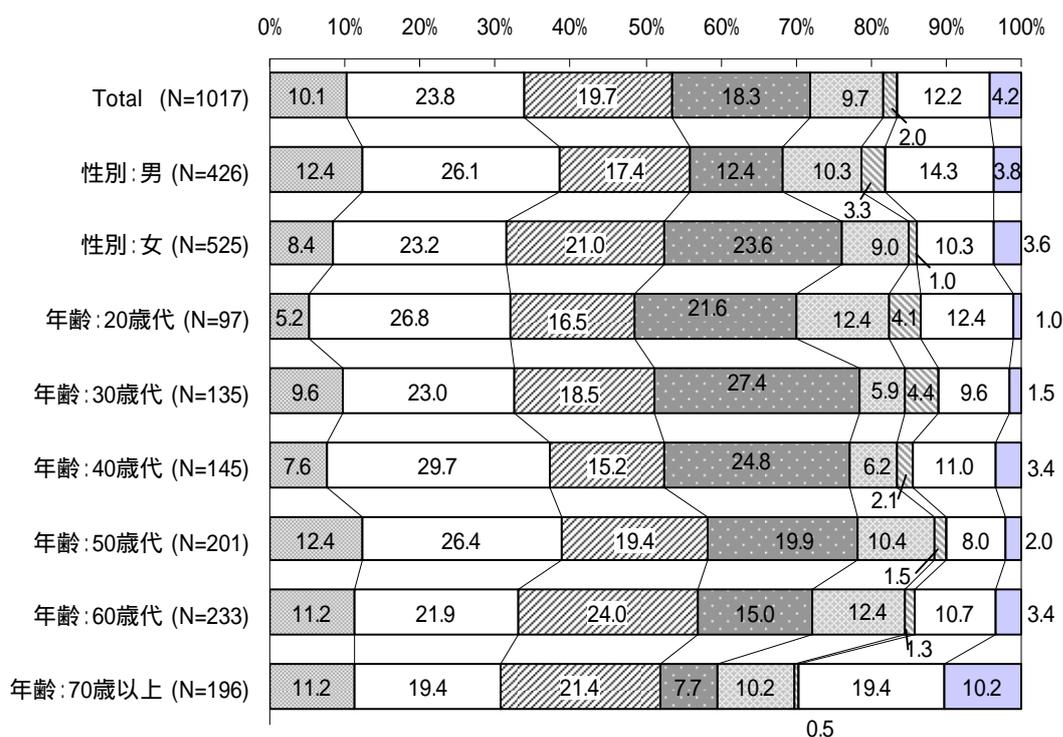
全体としてみたときに、最も選ばれた回答は「偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりの改善(以下「偏見の改善」)」で 23.8% である。次は「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなどの改善(以下「女性の経済力の改善」)」で 19.7%、その次は「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの改善(以下「女性の就業・社会参加」)」18.3%である。

男女別では、女性は「女性の就業・社会参加」が相対的により高い値であるのに対し、男性は「法律や制度面での改善」の割合が相対的に高い。

年齢別では、20歳代から40歳代は「偏見の改善」と「女性の就業・社会参加」の割合が高いのに対し、50歳以上の人では、「女性の経済力の改善」の割合が高くなる傾向が見られる。

< 性・年代別 >

- 法律や制度面での改善
- 偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりの改善
- ▨ 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなどの改善
- 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの改善
- 政府や企業などの重要な役職に女性を登用する制度の採用・充実
- その他
- わからない
- 無回答



問 32 一般的に、女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。
(1つに)

全体では、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい(以下「職業を続ける方がよい」)」が最も多く 39.2%、その次は「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい(以下「子ども成長後再就職」)」で 35.8% となっている。この2つで全体の 75% を占めるので、大きく2つの意見に分かれているといえる。

男女別では、女性のほうが若干ではあるが「職業を続ける方がよい」の割合が高い。

年齢別では、20歳代では「その他」が 14.4% と高くなっている。また、60歳代 70歳以上では、「子ども成長後再就職」が若干高く、それぞれ 40.3%、38.3%となっている。

<性・年齢別 / 項目> %	女性 は 職業 を も つ 方 が よ い	結 婚 す る ま ま で は 職 業 を も つ 方 が よ い	は 、 子 ど も が も つ 方 が よ い	ず っ と 子 ど も が も つ 方 が よ い	ら を 子 ど も が も つ 方 が よ い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
Total (N=1017)	1.1	2.9	5.0	39.2	35.8	6.5	6.3	3.1
性別:男 (N=426)	1.4	3.3	6.3	38.5	35.0	6.8	5.9	2.8
性別:女 (N=525)	1.0	2.5	3.4	40.6	36.2	6.9	6.9	2.7
年齢:20歳代 (N=97)	0.0	3.1	2.1	44.3	33.0	14.4	3.1	0.0
年齢:30歳代 (N=135)	0.0	3.0	4.4	43.0	33.3	9.6	6.7	0.0
年齢:40歳代 (N=145)	0.7	3.4	4.8	44.1	31.7	8.3	4.1	2.8
年齢:50歳代 (N=201)	2.0	1.5	5.0	41.8	35.3	7.5	6.0	1.0
年齢:60歳代 (N=233)	1.7	2.1	6.0	37.3	40.3	4.3	5.2	3.0
年齢:70歳以上 (N=196)	1.0	4.6	5.6	31.1	38.3	0.5	9.7	9.2

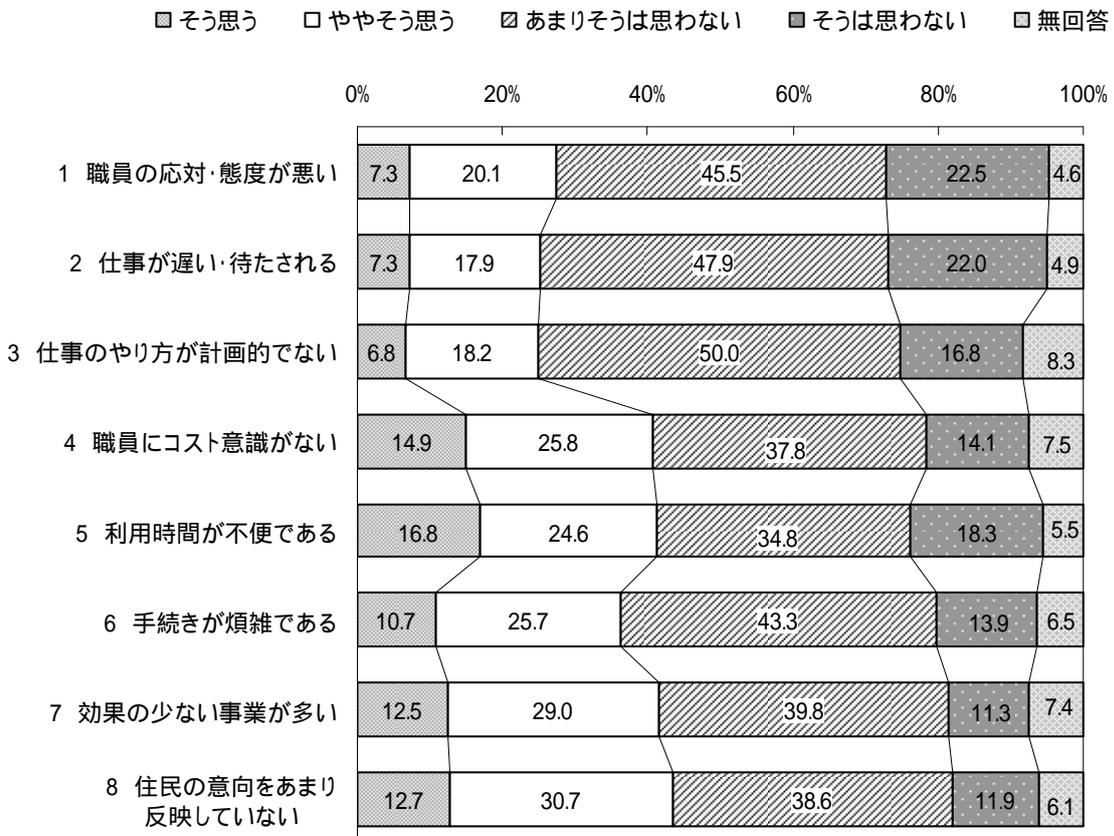
網掛け・太字・アンダーラインは各カテゴリーで第1位を、網掛け・太字は第2位を示す。

問 33 あなたは、役場の仕事ぶりをどう感じていますか。

職員の実際の仕事ぶりについての評価と考えられる「職員の対応・態度が悪い」「仕事が遅い・待たされる」「仕事のやり方が計画的でない」などの項目では、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた評価の割合は、それぞれ 27.4%、25.2%、25.0%と、他の項目よりも低い。

他方で、より行政の制度や仕組みに関わる部分についての評価と考えられる「職員にコスト意識がない」「利用時間が不便である」「手続きが煩雑である」「効果の少ない事業が多い」「住民の意向をあまり反映していない」という項目については、それぞれ「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合は、40.7%、41.4%、36.4%、41.5%、43.4%と、割合が高くなっている。

< 行財政の運営について > N=1017

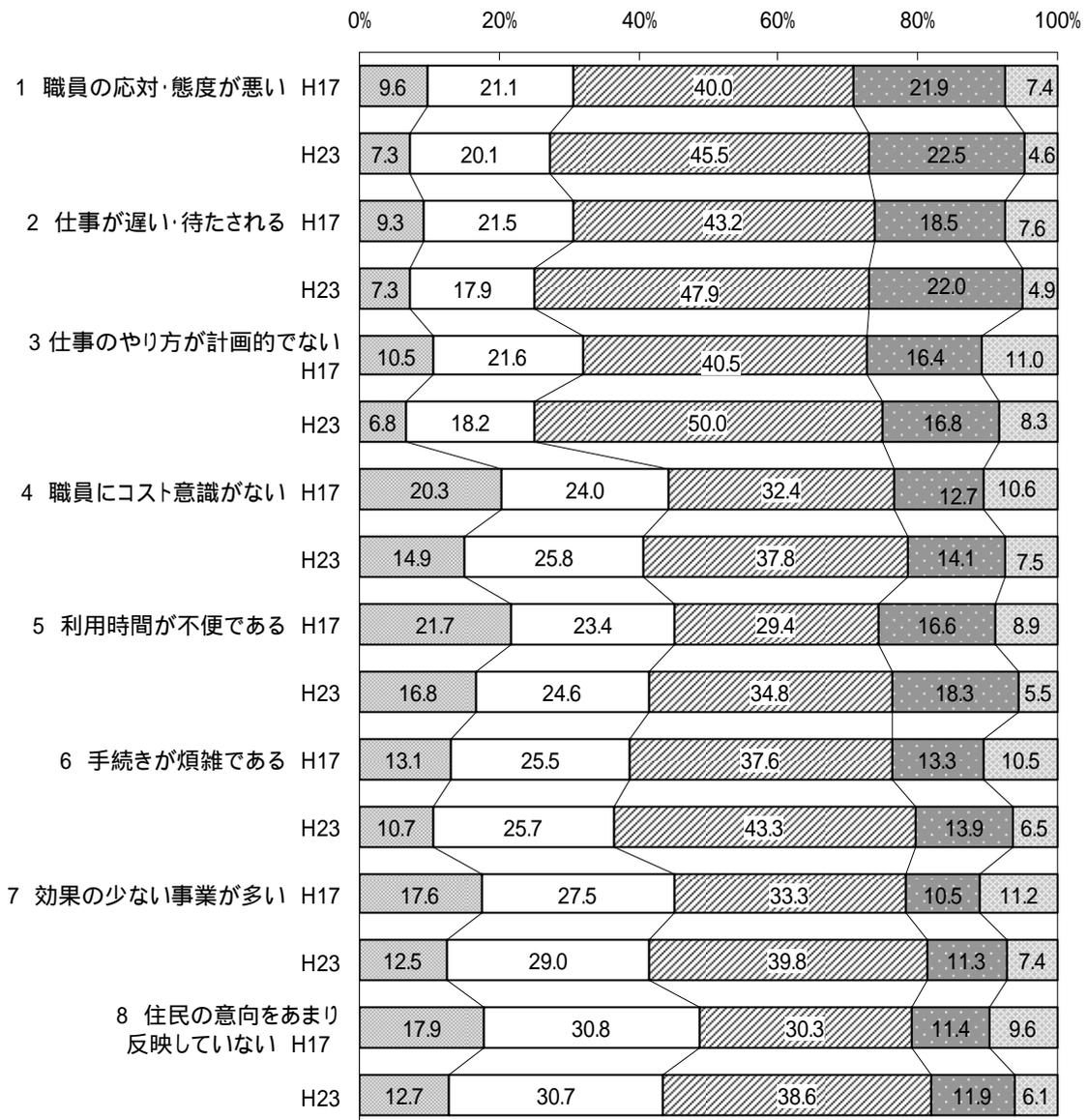


<平成 17 年度との比較>

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合で比較してみると、どの項目でも今回の平成 23 年のほうが改善されているといえる。最もポイントの差があったのは「仕事のやり方が計画的でない」という項目で、32.1%から 25.0%へと下がっている（改善されている）。

<H17年とH23年の比較> H17年:N=1165, H23年:N=1017

□ そう思う □ ややそう思う ▨ あまりそうは思わない ■ そうは思わない □ 無回答



問 34 あなたは、町の行政に関する情報を何によって知ることが多いですか。
 (あてはまるものすべてに)

全体では、最も多いのは「町報(広報かみさと)」37.3%で、続いて「町議会報(かみさと議会だより)」18.0%、そして「掲示板・回覧板」16.5%となる。

年齢別では、20歳代から50歳代では「町報」が約40%台であるが、60歳以上ではこの値は低くなっている。また50歳以上では、「町議会報」からも情報を得ているのに対し(約20%前後)、20歳代、30歳代では「町議会報」への依存は低い。また20歳代は、「家族や知人」からの値が高い。

<性・年齢別 / 項目> %	町報 (広報かみさと)	町議会報 (かみさと議会だより)	町のホームページ	役場の窓口・担当課	掲示板・回覧板	新聞の地域版・ラジテレ	民生員や町内会・自治会	町議会議員や町役場の職員との会話	家族や知人、近所の会話	その他	町の行政に関する情報	無回答
Total (N=2509)	37.3	18	3	1.8	16.5	2.7	3.1	2.7	12.2	0.5	1.5	0.7
性別:男 (N=1043)	36.9	18.2	4.1	1.2	15.8	2.4	3.2	3.2	11.5	0.6	2.2	0.8
性別:女 (N=1290)	38.2	17.5	2	2.2	16.9	2.9	3.2	2.2	13.2	0.3	0.9	0.5
年齢:20歳代 (N=196)	41.3	9.7	5.6	1.5	13.8	0.5	0	0.5	23	0	3.6	0.5
年齢:30歳代 (N=309)	40.5	12.6	6.5	1	13.9	1.9	2.6	1.3	15.5	1.9	1.6	0.6
年齢:40歳代 (N=328)	41.2	16.5	2.7	2.7	16.8	1.8	2.1	3.4	11	0.3	0.9	0.6
年齢:50歳代 (N=478)	40	19.9	3.3	1.5	17.6	2.1	2.7	1.5	9.8	0.2	1	0.4
年齢:60歳代 (N=632)	35.4	21.8	1.7	1.3	18.2	2.8	3.8	3.6	9.5	0.5	0.6	0.6
年齢:70歳以上 (N=543)	31.9	19	1.7	2.2	16.6	4.4	4.8	3.9	12.3	0.2	2.4	0.7

網掛け・太字・アンダーラインは各カテゴリーで第1位を、網掛け・太字は第2位を示す。

問 35 あなたは、町からどのような情報を得たいですか。(あてはまるものすべてに)

全体では、「医療・保健などの健康に関する情報」が最も高く 16.7%、続いて「町行政の状況など、町政の動きに関する情報」11.8%、「ごみ収集などの生活情報」11.4%と続く。

男女別では、男性は「町行政の状況など、町政の動きに関する情報」の割合が高いのに対し、女性は「医療・保健などの健康に関する情報」などが男性に比べて高い。

年齢別では、年齢が高くなるほど「町政の動きに関する情報」や「福祉に関する情報」の割合が高くなる傾向がみられる。

<性・年齢別 / 項目> %	町行政の動きに関する情報	町の財政状況や予算などに関する情報	公民館・体育館などの図書情報	文化・学習活動やスポーツに関する情報	展示会やイベントに関する情報	市民サークル・団体の情報	観光・レジャーに関する情報	福祉に関する情報	医療・保健などの健康に関する情報	防犯・防災に関する情報	ごみ収集などの生活情報	その他	無回答
Total (N=4079)	11.8	8.4	7.7	6.3	6.3	3.6	5.2	11.2	16.7	10.1	11.4	0.4	0.8
性別:男 (N=1635)	14.6	10.8	7.5	6.7	5.8	3.1	5	9.4	14.9	10.3	10.7	0.6	0.7
性別:女 (N=2207)	9.6	6.6	8	6	6.7	4	5.3	12.1	18.2	10.1	12.4	0.3	0.7
年齢:20歳代 (N=346)	9.5	9	8.7	8.1	8.1	2.9	6.1	9.2	16.8	10.4	10.1	0.9	0.3
年齢:30歳代 (N=582)	10.7	6.9	10.7	7.4	5.7	3.4	6.4	9.3	16.8	10.1	12.2	0.2	0.3
年齢:40歳代 (N=619)	8.7	6.8	7.3	7.1	7.8	4	6.3	9.7	17	10.7	13.9	0.5	0.3
年齢:50歳代 (N=801)	12.1	8.9	7.4	7.4	5.4	4.4	4.4	11.5	16.9	9.2	11.6	0.5	0.5
年齢:60歳代 (N=975)	13.5	9.5	7.7	5.6	6.8	4.4	5.1	10.9	16.1	9.1	9.6	0.4	1.1
年齢:70歳以上 (N=737)	13.6	9	5.8	3.8	5.4	1.9	4.2	14.5	17.4	11.8	11.1	0.1	1.4

網掛け・太字・アンダーラインは各カテゴリーで第1位を、網掛け・太字は第2位を示す。

<サマリー> 行が2行以上にまたがる場合は、読みやすいように網掛けしてある。

問1.1 性別

	度数	パーセント
男	426	41.9
女	525	51.6
無回答	66	6.5
合計	1017	100

問1.2 年齢

	度数	パーセント
20歳代	97	9.5
30歳代	135	13.3
40歳代	145	14.3
50歳代	201	19.8
60歳代	233	22.9
70歳以上	196	19.3
無回答	10	1.0
合計	1017	100

問1.3 職業等(自営)

	度数	パーセント
農業(自営)	72	7.1
製造業・建設業(自営)	26	2.6
卸小売・飲食業(自営)	8	0.8
その他サービス業等(自営)	39	3.8
農業(勤め)	1	0.1
製造業・建設業(勤め)	144	14.2
卸小売・飲食業(勤め)	24	2.4
その他サービス業等(公務員を含む)(勤め)	191	18.8
主婦	202	19.9
無職	223	21.9
派遣・アルバイト	34	3.3
学生・その他	28	2.8
無回答	25	2.5
合計	1017	100

問1.4 就学先・勤務先

	度数	パーセント
町内	220	21.6
本庄市	154	15.1
郡内他町	48	4.7
その他県内	86	8.5
藤岡市・高崎市	46	4.5
その他県外	71	7.0
就学・勤務していない	217	21.3
無回答	175	17.2
合計	1017	100

問1.5 出身地

	度数	パーセント
上里町に生まれてからずっと住んでいる	223	21.9
上里町出身だが、町外での居住経験がある	146	14.4
県内の他の市町村出身である	252	24.8
県外の出身である	385	37.9
無回答	11	1.1
合計	1017	100

問1.6 居住地

	度数	パーセント
賀美小学校区	156	15.3
長幡小学校区	119	11.7
七本木小学校区	209	20.6
上里東小学校区	304	29.9
神保原小学校区	184	18.1
無回答	45	4.4
合計	1017	100

問2 上里町の住みよさ

	度数	パーセント
住みよい	263	25.9
まあまあ住みよい	625	61.5
あまり住みよくない	100	9.8
無回答	29	2.9
合計	1017	100

問3 「自分の町」としての上里町への愛着

	度数	パーセント
とても愛着を感じている	260	25.6
愛着をやや感じている	534	52.5
愛着をあまり感じていない	158	15.5
愛着を感じていない	51	5.0
無回答	14	1.4
合計	1017	100

問4 残しておきたい上里町のよさ

	度数	パーセント
豊かな自然環境	220	21.6
公害のない健全な住環境	341	33.5
歴史・伝統	24	2.4
隣近所との付き合い	70	6.9
のどかな雰囲気	308	30.3
その他	26	2.6
無回答	28	2.8
合計	1017	100

問5 今後も上里町に住み続けたいか

	度数	パーセント
ずっと住み続けたい	525	51.6
当分は住み続けたい	307	30.2
いずれ町外に転居したい	50	4.9
すぐに町外に転居したい	6	0.6
わからない	119	11.7
無回答	10	1.0
合計	1017	100

問6 (1) 保健(健診・健康講座など)

	度数	パーセント
満足している	84	8.3
やや満足している	378	37.2
どちらともいえない	384	37.8
やや不満である	75	7.4
不満である	26	2.6
無回答	70	6.9
合計	1017	100

問6 (6) 公園

	度数	パーセント
満足している	33	3.2
やや満足している	129	12.7
どちらともいえない	320	31.5
やや不満である	269	26.5
不満である	206	20.3
無回答	60	5.9
合計	1017	100

問6 (2) 医療

	度数	パーセント
満足している	62	6.1
やや満足している	307	30.2
どちらともいえない	304	29.9
やや不満である	182	17.9
不満である	99	9.7
無回答	63	6.2
合計	1017	100

問6 (7) 道路整備

	度数	パーセント
満足している	39	3.8
やや満足している	269	26.5
どちらともいえない	255	25.1
やや不満である	257	25.3
不満である	148	14.6
無回答	49	4.8
合計	1017	100

問6 (3) 高齢者への介護・福祉

	度数	パーセント
満足している	35	3.4
やや満足している	189	18.6
どちらともいえない	563	55.4
やや不満である	112	11.0
不満である	57	5.6
無回答	61	6.0
合計	1017	100

問6 (8) 鉄道・バス

	度数	パーセント
満足している	58	5.7
やや満足している	203	20.0
どちらともいえない	341	33.5
やや不満である	208	20.5
不満である	147	14.5
無回答	60	5.9
合計	1017	100

問6 (4) 障害者への支援

	度数	パーセント
満足している	33	3.2
やや満足している	131	12.9
どちらともいえない	651	64.0
やや不満である	82	8.1
不満である	38	3.7
無回答	82	8.1
合計	1017	100

問6 (9) 水道

	度数	パーセント
満足している	185	18.2
やや満足している	362	35.6
どちらともいえない	289	28.4
やや不満である	97	9.5
不満である	35	3.4
無回答	49	4.8
合計	1017	100

問6 (5) 子育て支援(保育園、児童館など)

	度数	パーセント
満足している	66	6.5
やや満足している	237	23.3
どちらともいえない	474	46.6
やや不満である	103	10.1
不満である	47	4.6
無回答	90	8.8
合計	1017	100

問6 (10) 汚水処理(下水道、集落排水、合併浄化槽)

	度数	パーセント
満足している	67	6.6
やや満足している	189	18.6
どちらともいえない	371	36.5
やや不満である	163	16.0
不満である	176	17.3
無回答	51	5.0
合計	1017	100

問6 (11) ごみ収集・処理

	度数	パーセント
満足している	201	19.8
やや満足している	421	41.4
どちらともいえない	229	22.5
やや不満である	98	9.6
不満である	31	3.0
無回答	37	3.6
合計	1017	100

問6 (16) 農業振興

	度数	パーセント
満足している	32	3.1
やや満足している	123	12.1
どちらともいえない	631	62.0
やや不満である	104	10.2
不満である	36	3.5
無回答	91	8.9
合計	1017	100

問6 (12) 消防

	度数	パーセント
満足している	166	16.3
やや満足している	323	31.8
どちらともいえない	451	44.3
やや不満である	18	1.8
不満である	9	0.9
無回答	50	4.9
合計	1017	100

問6 (17) 工業振興(建設業を含む)

	度数	パーセント
満足している	24	2.4
やや満足している	103	10.1
どちらともいえない	656	64.5
やや不満である	109	10.7
不満である	23	2.3
無回答	102	10.0
合計	1017	100

問6 (13) 防災

	度数	パーセント
満足している	115	11.3
やや満足している	285	28.0
どちらともいえない	504	49.6
やや不満である	47	4.6
不満である	14	1.4
無回答	52	5.1
合計	1017	100

問6 (18) 商業振興

	度数	パーセント
満足している	44	4.3
やや満足している	153	15.0
どちらともいえない	524	51.5
やや不満である	157	15.4
不満である	42	4.1
無回答	97	9.5
合計	1017	100

問6 (14) 交通安全

	度数	パーセント
満足している	76	7.5
やや満足している	287	28.2
どちらともいえない	454	44.6
やや不満である	107	10.5
不満である	45	4.4
無回答	48	4.7
合計	1017	100

問6 (19) 観光振興

	度数	パーセント
満足している	15	1.5
やや満足している	53	5.2
どちらともいえない	587	57.7
やや不満である	177	17.4
不満である	93	9.1
無回答	92	9.0
合計	1017	100

問6 (15) 防犯

	度数	パーセント
満足している	63	6.2
やや満足している	265	26.1
どちらともいえない	446	43.9
やや不満である	143	14.1
不満である	49	4.8
無回答	51	5.0
合計	1017	100

問6 (20) 雇用対策

	度数	パーセント
満足している	22	2.2
やや満足している	59	5.8
どちらともいえない	503	49.5
やや不満である	208	20.5
不満である	140	13.8
無回答	85	8.4
合計	1017	100

問6 (21) 幼児教育(幼稚園など)

	度数	パーセント
満足している	62	6.1
やや満足している	208	20.5
どちらともいえない	553	54.4
やや不満である	88	8.7
不満である	29	2.9
無回答	77	7.6
合計	1017	100

問6 (26) 国際交流

	度数	パーセント
満足している	12	1.2
やや満足している	56	5.5
どちらともいえない	754	74.1
やや不満である	77	7.6
不満である	34	3.3
無回答	84	8.3
合計	1017	100

問6 (22) 学校教育

	度数	パーセント
満足している	56	5.5
やや満足している	229	22.5
どちらともいえない	510	50.1
やや不満である	101	9.9
不満である	44	4.3
無回答	77	7.6
合計	1017	100

問6 (27) 男女共同参画

	度数	パーセント
満足している	22	2.2
やや満足している	110	10.8
どちらともいえない	742	73.0
やや不満である	53	5.2
不満である	8	0.8
無回答	82	8.1
合計	1017	100

問6 (23) 生涯学習環境

	度数	パーセント
満足している	40	3.9
やや満足している	162	15.9
どちらともいえない	624	61.4
やや不満である	81	8.0
不満である	29	2.9
無回答	81	8.0
合計	1017	100

問6 (28) 地域の情報化

	度数	パーセント
満足している	25	2.5
やや満足している	157	15.4
どちらともいえない	614	60.4
やや不満である	112	11.0
不満である	34	3.3
無回答	75	7.4
合計	1017	100

問6 (24) スポーツ振興

	度数	パーセント
満足している	49	4.8
やや満足している	185	18.2
どちらともいえない	606	59.6
やや不満である	77	7.6
不満である	20	2.0
無回答	80	7.9
合計	1017	100

問6 (29) 地域振興(コミュニティづくり)

	度数	パーセント
満足している	26	2.6
やや満足している	160	15.7
どちらともいえない	648	63.7
やや不満である	82	8.1
不満である	22	2.2
無回答	79	7.8
合計	1017	100

問6 (25) 歴史・文化の保全・活用

	度数	パーセント
満足している	28	2.8
やや満足している	128	12.6
どちらともいえない	694	68.2
やや不満である	65	6.4
不満である	22	2.2
無回答	80	7.9
合計	1017	100

問6 (30) 行財政運営

	度数	パーセント
満足している	16	1.6
やや満足している	108	10.6
どちらともいえない	613	60.3
やや不満である	137	13.5
不満である	66	6.5
無回答	77	7.6
合計	1017	100

問6 (1) 保健(健診・健康講座など)

	度数	パーセント
重要である	606	59.6
やや重要である	221	21.7
どちらともいえない	98	9.6
あまり重要でない	5	0.5
重要でない	0	0.0
無回答	87	8.6
合計	1017	100

問6 (7) 道路整備

	度数	パーセント
重要である	383	37.7
やや重要である	366	36.0
どちらともいえない	154	15.1
あまり重要でない	29	2.9
重要でない	7	0.7
無回答	78	7.7
合計	1017	100

問6 (2) 医療

	度数	パーセント
重要である	742	73.0
やや重要である	144	14.2
どちらともいえない	57	5.6
あまり重要でない	4	0.4
無回答	70	6.9
合計	1017	100

問6 (8) 鉄道・バス

	度数	パーセント
重要である	282	27.7
やや重要である	345	33.9
どちらともいえない	250	24.6
あまり重要でない	42	4.1
重要でない	16	1.6
無回答	82	8.1
合計	1017	100

問6 (3) 高齢者への介護・福祉

	度数	パーセント
重要である	641	63.0
やや重要である	195	19.2
どちらともいえない	100	9.8
あまり重要でない	7	0.7
重要でない	2	0.2
無回答	72	7.1
合計	1017	100

問6 (9) 水道

	度数	パーセント
重要である	504	49.6
やや重要である	268	26.4
どちらともいえない	160	15.7
あまり重要でない	7	0.7
重要でない	4	0.4
無回答	74	7.3
合計	1017	100

問6 (4) 障害者への支援

	度数	パーセント
重要である	544	53.5
やや重要である	224	22.0
どちらともいえない	157	15.4
あまり重要でない	8	0.8
重要でない	2	0.2
無回答	82	8.1
合計	1017	100

問6 (10) 汚水処理(下水道、集落排水、合併浄化槽)

	度数	パーセント
重要である	497	48.9
やや重要である	273	26.8
どちらともいえない	159	15.6
あまり重要でない	13	1.3
重要でない	4	0.4
無回答	71	7.0
合計	1017	100

問6 (5) 子育て支援(保育園、児童館など)

	度数	パーセント
重要である	543	53.4
やや重要である	230	22.6
どちらともいえない	151	14.8
あまり重要でない	4	0.4
重要でない	3	0.3
無回答	86	8.5
合計	1017	100

問6 (11) ごみ収集・処理

	度数	パーセント
重要である	522	51.3
やや重要である	311	30.6
どちらともいえない	115	11.3
あまり重要でない	4	0.4
重要でない	1	0.1
無回答	64	6.3
合計	1017	100

問6 (6) 公園

	度数	パーセント
重要である	230	22.6
やや重要である	365	35.9
どちらともいえない	274	26.9
あまり重要でない	48	4.7
重要でない	11	1.1
無回答	89	8.8
合計	1017	100

問6 (12) 消防

	度数	パーセント
重要である	537	52.8
やや重要である	231	22.7
どちらともいえない	172	16.9
あまり重要でない	5	0.5
重要でない	3	0.3
無回答	69	6.8
合計	1017	100

問6 (13) 防災

	度数	パーセント
重要である	498	49.0
やや重要である	272	26.7
どちらともいえない	169	16.6
あまり重要でない	5	0.5
重要でない	2	0.2
無回答	71	7.0
合計	1017	100

問6 (19) 観光振興

	度数	パーセント
重要である	150	14.7
やや重要である	219	21.5
どちらともいえない	448	44.1
あまり重要でない	69	6.8
重要でない	32	3.1
無回答	99	9.7
合計	1017	100

問6 (14) 交通安全

	度数	パーセント
重要である	556	54.7
やや重要である	235	23.1
どちらともいえない	154	15.1
あまり重要でない	3	0.3
重要でない	1	0.1
無回答	68	6.7
合計	1017	100

問6 (20) 雇用対策

	度数	パーセント
重要である	476	46.8
やや重要である	219	21.5
どちらともいえない	215	21.1
あまり重要でない	13	1.3
重要でない	6	0.6
無回答	88	8.7
合計	1017	100

問6 (15) 防犯

	度数	パーセント
重要である	602	59.2
やや重要である	230	22.6
どちらともいえない	115	11.3
あまり重要でない	3	0.3
重要でない	2	0.2
無回答	65	6.4
合計	1017	100

問6 (21) 幼児教育(幼稚園など)

	度数	パーセント
重要である	446	43.9
やや重要である	252	24.8
どちらともいえない	212	20.8
あまり重要でない	5	0.5
重要でない	5	0.5
無回答	97	9.5
合計	1017	100

問6 (16) 農業振興

	度数	パーセント
重要である	284	27.9
やや重要である	295	29.0
どちらともいえない	324	31.9
あまり重要でない	15	1.5
重要でない	7	0.7
無回答	92	9.0
合計	1017	100

問6 (22) 学校教育

	度数	パーセント
重要である	569	55.9
やや重要である	197	19.4
どちらともいえない	153	15.0
あまり重要でない	3	0.3
重要でない	3	0.3
無回答	92	9.0
合計	1017	100

問6 (17) 工業振興(建設業を含む)

	度数	パーセント
重要である	193	19.0
やや重要である	297	29.2
どちらともいえない	401	39.4
あまり重要でない	18	1.8
重要でない	7	0.7
無回答	101	9.9
合計	1017	100

問6 (23) 生涯学習環境

	度数	パーセント
重要である	229	22.5
やや重要である	323	31.8
どちらともいえない	328	32.3
あまり重要でない	30	2.9
重要でない	6	0.6
無回答	101	9.9
合計	1017	100

問6 (18) 商業振興

	度数	パーセント
重要である	236	23.2
やや重要である	319	31.4
どちらともいえない	343	33.7
あまり重要でない	14	1.4
重要でない	6	0.6
無回答	99	9.7
合計	1017	100

問6 (24) スポーツ振興

	度数	パーセント
重要である	159	15.6
やや重要である	324	31.9
どちらともいえない	388	38.2
あまり重要でない	33	3.2
重要でない	14	1.4
無回答	99	9.7
合計	1017	100

問6 (25) 歴史・文化の保全・活用

	度数	パーセント
重要である	149	14.7
やや重要である	296	29.1
どちらともいえない	426	41.9
あまり重要でない	35	3.4
重要でない	11	1.1
無回答	100	9.8
合計	1017	100

問6 (26) 国際交流

	度数	パーセント
重要である	110	10.8
やや重要である	225	22.1
どちらともいえない	506	49.8
あまり重要でない	53	5.2
重要でない	21	2.1
無回答	102	10.0
合計	1017	100

問6 (27) 男女共同参画

	度数	パーセント
重要である	129	12.7
やや重要である	233	22.9
どちらともいえない	496	48.8
あまり重要でない	43	4.2
重要でない	12	1.2
無回答	104	10.2
合計	1017	100

問6 (28) 地域の情報化

	度数	パーセント
重要である	218	21.4
やや重要である	314	30.9
どちらともいえない	362	35.6
あまり重要でない	22	2.2
重要でない	5	0.5
無回答	96	9.4
合計	1017	100

問6 (29) 地域振興(コミュニティづくり)

	度数	パーセント
重要である	198	19.5
やや重要である	307	30.2
どちらともいえない	387	38.1
あまり重要でない	24	2.4
重要でない	5	0.5
無回答	96	9.4
合計	1017	100

問6 (30) 行財政運営

	度数	パーセント
重要である	384	37.8
やや重要である	218	21.4
どちらともいえない	308	30.3
あまり重要でない	3	0.3
重要でない	6	0.6
無回答	98	9.6
合計	1017	100

問7 今後の上里町のめざすべき方向

	度数	パーセント
良好な生活環境の整った住宅のまち	524	18.7
高齢者や子ども、障害者を大切にする福祉のまち	646	23.1
台風や大雨、地震などの災害に強い防災のまち	256	9.1
道路や鉄道の機能を活かした交通拠点のまち	176	6.3
高度な技術を中心に都市的工業の整ったまち	67	2.4
近代的農業を中心に緑豊かな田園のまち	317	11.3
商業が盛んで買い物が便利なまち	308	11
学校教育や生涯学習が充実した教育と文化のまち	379	13.5
スポーツが盛んなまち	88	3.1
その他	21	0.8
無回答	17	0.6
合計	2799	100

Q8 自分が「健康」だと思うか

	度数	パーセント
そう思う	400	39.3
ややそう思う	393	38.6
あまり思わない	158	15.5
まったく思わない	48	4.7
無回答	18	1.8
合計	1017	100

問9 健康と思う理由

	度数	パーセント
定期的に運動しているから	264	11.6
ストレスをためないように気をつけているから	337	14.8
食事の量やバランスなどに気をつけているから	399	17.6
規則正しい生活を心がけているから	422	18.6
酒を飲まない、または飲む量に気をつけているから	189	8.3
たばこを吸わない、または吸う量に気をつけているから	266	11.7
趣味活動や地域活動に積極的に参加する意欲をもっているから	140	6.2
その他	39	1.7
無回答	216	9.5
合計	2272	100

問10 健康でない理由

	度数	パーセント
定期的に運動をしていないから	108	8.5
ストレスをためてしまうから	108	8.5
偏食や食事時間の不規則が多いから	37	2.9
規則正しい生活ができていないから	53	4.2
酒を飲むから	27	2.1
たばこを吸うから	25	2
趣味活動や地域活動に積極的に参加する意欲がないから	53	4.2
その他	59	4.6
無回答	806	63.2
合計	1276	100

問11 この1年間でのボランティア参加経験

	度数	パーセント
参加した	222	21.8
参加していない	758	74.5
無回答	37	3.6
合計	1017	100

問12 参加したボランティアの分野

	度数	パーセント
健康づくりの活動	20	1.7
高齢者への支援	31	2.6
障害者への支援	13	1.1
子育て支援	28	2.4
文化・スポーツなど生涯学習活動	48	4.1
地域づくりのための活動(自治会活動を含む)	99	8.4
防犯や防災など生活安全の活動	43	3.7
リサイクルなど環境活動	67	5.7
災害援助活動	3	0.3
その他	25	2.1
無回答	797	67.9
合計	1174	100

問13 上里町はボランティアが活発か

	度数	パーセント
活発である	58	5.7
活発でない	142	14.0
わからない	779	76.6
無回答	38	3.7
合計	1017	100

問14 福祉サービスと住民負担のあり方

	度数	パーセント
住民負担が高くなっても、必要な福祉サービスは充実していくべき	178	17.5
住民負担もサービスも標準レベル(全国平均など)をめざすべき	539	53.0
住民負担が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべき	86	8.5
わからない	150	14.7
その他	35	3.4
無回答	29	2.9
合計	1017	100

問15 子ども医療費無料化施策の認知度

	度数	パーセント
有効		
内容を聞いたことがある	351	34.5
具体的な内容を知っている	214	21.0
知らない	427	42.0
無回答	25	2.5
合計	1017	100

問16 自分の住んでいる地区は、近所づきあいや地域活動が活発な地区である

	度数	パーセント
そう思う	129	12.7
ややそう思う	381	37.5
あまり思わない	415	40.8
まったく思わない	73	7.2
無回答	19	1.9
合計	1017	100

問16 自分自身は、積極的に近所づきあいや地域活動に参加している

	度数	パーセント
そう思う	134	13.2
ややそう思う	312	30.7
あまり思わない	407	40.0
まったく思わない	131	12.9
無回答	33	3.2
合計	1017	100

問16 自分の住んでいる地区は、困っている人を助ける仕組みができています

	度数	パーセント
そう思う	39	3.8
ややそう思う	236	23.2
あまり思わない	548	53.9
まったく思わない	156	15.3
無回答	38	3.7
合計	1017	100

問16 自分の住んでいる地区は、日頃から防犯のための目配りができています

	度数	パーセント
そう思う	67	6.6
ややそう思う	330	32.4
あまり思わない	477	46.9
まったく思わない	108	10.6
無回答	35	3.4
合計	1017	100

問16 自分の住んでいる地区は、災害が起こっても、みんな助け合えると思う

	度数	パーセント
そう思う	119	11.7
ややそう思う	461	45.3
あまり思わない	327	32.2
まったく思わない	75	7.4
無回答	35	3.4
合計	1017	100

問16 自分の住んでいる地区は、環境美化に熱心である

	度数	パーセント
そう思う	73	7.2
ややそう思う	309	30.4
あまり思わない	499	49.1
まったく思わない	103	10.1
無回答	33	3.2
合計	1017	100

問17 ごみをきちんと分別する

	度数	パーセント
いつも行っている	655	64.4
だいたい行っている(7~9割)	302	29.7
時々行っている(4~6割)	24	2.4
あまり行っていない(1~3割)	16	1.6
まったく行っていない	6	0.6
無回答	14	1.4
合計	1017	100

問17 ボイ捨てをしない

	度数	パーセント
いつも行っている	797	78.4
だいたい行っている(7~9割)	94	9.2
時々行っている(4~6割)	10	1.0
あまり行っていない(1~3割)	17	1.7
まったく行っていない	73	7.2
無回答	26	2.6
合計	1017	100

問17 なるべく公共交通機関を利用する

	度数	パーセント
いつも行っている	130	12.8
だいたい行っている(7~9割)	134	13.2
時々行っている(4~6割)	202	19.9
あまり行っていない(1~3割)	301	29.6
まったく行っていない	207	20.4
無回答	43	4.2
合計	1017	100

問17 冷房は28度以上、暖房は20度以下に設定している

	度数	パーセント
いつも行っている	296	29.1
だいたい行っている(7~9割)	280	27.5
時々行っている(4~6割)	174	17.1
あまり行っていない(1~3割)	169	16.6
まったく行っていない	68	6.7
無回答	30	2.9
合計	1017	100

問17 風呂などの節水に心がけている

	度数	パーセント
いつも行っている	346	34.0
だいたい行っている(7~9割)	317	31.2
時々行っている(4~6割)	165	16.2
あまり行っていない(1~3割)	132	13.0
まったく行っていない	33	3.2
無回答	24	2.4
合計	1017	100

問18 防災備品の準備(懐中電灯、消火器、救急箱、非常

	度数	パーセント
いつも行っている	92	9.0
行っている	205	20.2
あまり行っていない	477	46.9
まったく行っていない	224	22.0
無回答	19	1.9
合計	1017	100

問18 家具の転倒防止策

	度数	パーセント
いつも行っている	44	4.3
行っている	171	16.8
あまり行っていない	450	44.2
まったく行っていない	323	31.8
無回答	29	2.9
合計	1017	100

問18 被災時の家族との連絡方法の確認

	度数	パーセント
いつも行っている	55	5.4
行っている	242	23.8
あまり行っていない	434	42.7
まったく行っていない	258	25.4
無回答	28	2.8
合計	1017	100

問18 避難場所の確認

	度数	パーセント
いつも行っている	56	5.5
行っている	299	29.4
あまり行っていない	380	37.4
まったく行っていない	254	25.0
無回答	28	2.8
合計	1017	100

問19 交通対策への意見

	度数	パーセント
高崎線の利便性の確保	577	23.1
民間バス(本庄市等)の利便性の確保	282	11.3
八高線の利便性の確保	49	2
町内福祉巡回バスの拡充	251	10
町内と本庄や藤岡の市街地を結ぶ公共交通の確保	367	14.7
町内と本庄早稲田駅を結ぶ公共交通の確保	255	10.2
障害者や高齢者などのための送迎サービスの充実	457	18.3
デマンド型タクシー(事前予約制)の低料金・乗合タクシーサービス	185	7.4
その他	36	1.4
無回答	39	1.6
合計	2498	100

問20 地域の情報化への意見

	度数	パーセント
高度情報通信網の整備促進 など情報通信基盤の整備	207	11.6
町ホームページの充実などイ ンターネット等を通じた 情報提供の充実	217	12.2
申請・届出等手続の電子化 など住民サービスの ネットワーク化	254	14.3
保健・医療・福祉、生涯学習・ 文化・スポーツをはじめ とする多様な分野での情報 サービスの提供	629	35.4
学校教育・生涯学習などでの 情報教育の充実	207	11.6
情報化に対応した個人情報 保護対策の充実	182	10.2
その他	17	1
無回答	64	3.6
合計	1777	100

問21 農業振興策として力を入れるべき施策

	度数	パーセント
農道、用・排水施設の整備や 農地整備など	234	9.2
生産基盤の充実		
優良農地の保全	135	5.3
農地の集約や農作業受委託 などによる経営規模の拡大	160	6.3
農業生産グループ・団体づく りや育成施策の強化	169	6.6
農業後継者の育成	461	18
先端農業技術などの積極的 導入(新品種、 情報システムの導入など)	92	3.6
地場特産品の開発、主産地 形成の促進	247	9.7
農畜産物を利用した加工食 品の開発	103	4
体験農業、観光農業、町民 農園などの振興	195	7.6
低農薬・有機栽培など環境 にやさしい農業の振興	321	12.6
地産地消の推進ならびに流 通・販売体制の確立	303	11.8
現状のままでよい	49	1.9
その他	24	0.9
無回答	64	2.5
合計	2557	100

問22 町の商業振興策として力を入れるべき施策

	度数	パーセント
神保原駅周辺や国道17号沿 線の商業環境の整備	506	29.9
上里サービスエリアでの地元 商業者の店づくりの推進	320	18.9
大規模な店舗(スーパー、デ パートなど)の誘致	164	9.7
商業イベントの開催や消費 者サービスなどの販売促進 対策の充実	316	18.6
商業経営の近代化やサービ スの向上のための支援の充 実	187	11
現状のままでよい	111	6.5
その他	32	1.9
無回答	59	3.5
合計	1695	100

問23 町の工業振興策として力を入れるべき施策

	度数	パーセント
既存企業の育成・振興	412	25.8
上里サービスエリア周辺地 区への工業用地の整備と優 良企業の誘致	461	28.8
起業家への支援や新産業の 開発・育成	375	23.5
既存企業の集約等による住 工混在の解消	113	7.1
現状のままでよい	144	9
その他	14	0.9
無回答	79	4.9
合計	1598	100

問24 町の観光・レクリエーション開発・振興策として力を入れるべき施策

	度数	パーセント
まちの歴史・文化をテーマと した観光機能の充実	204	12.4
河川を利用した水と緑にふ れあえる観光機能の充実	305	18.5
観光農業などまちの産業と 連携した観光機能の充実	303	18.4
イベントや祭りの内容の充 実・町のイメージキャラクター の作成	261	15.9
わかりやすい観光案内板の 整備	149	9.1
広域的な連携による観光 ルートの設定	106	6.4
モデル的な観光ルートマップ の作成	80	4.9
観光開発は、自然環境や生 活環境の悪化につながりか ねないので進めるべきでは ない	121	7.4
その他	33	2
無回答	83	5
合計	1645	100

問25 ゆとりを持った教育を行っている

	度数	パーセント
そう思う	123	12.1
どちらでもない	257	25.3
そうは思わない	161	15.8
わからない	385	37.9
無回答	91	8.9
合計	1017	100

問25 基礎学力を定着する教育ができています

	度数	パーセント
そう思う	96	9.4
どちらでもない	241	23.7
そうは思わない	185	18.2
わからない	397	39.0
無回答	98	9.6
合計	1017	100

問25 個性を尊重する教育を行っている

	度数	パーセント
そう思う	69	6.8
どちらでもない	253	24.9
そうは思わない	180	17.7
わからない	414	40.7
無回答	101	9.9
合計	1017	100

問25 進路に対応した教育ができています

	度数	パーセント
そう思う	53	5.2
どちらでもない	247	24.3
そうは思わない	182	17.9
わからない	436	42.9
無回答	99	9.7
合計	1017	100

問25 地域に開かれた学校運営ができています

	度数	パーセント
そう思う	128	12.6
どちらでもない	235	23.1
そうは思わない	142	14.0
わからない	408	40.1
無回答	104	10.2
合計	1017	100

問25 子どもたちが先生を尊敬している

	度数	パーセント
そう思う	87	8.6
どちらでもない	221	21.7
そうは思わない	205	20.2
わからない	402	39.5
無回答	102	10.0
合計	1017	100

問25 いじめ・不登校や学級崩壊が少ない

	度数	パーセント
そう思う	99	9.7
どちらでもない	187	18.4
そうは思わない	200	19.7
わからない	433	42.6
無回答	98	9.6
合計	1017	100

問26 町内で実施される文化・芸術鑑賞において充実してほしい分野

	度数	パーセント
音楽鑑賞	448	26.1
絵画・陶芸など芸術作品の鑑賞	243	14.2
演劇鑑賞	309	18
映画鑑賞	325	19
落語・漫才など	280	16.3
その他	22	1.3
無回答	87	5.1
合計	1714	100

問27 外国人との交流

	度数	パーセント
現在、外国人と交流している	81	8.0
以前、外国人と交流したことがある	194	19.1
外国人と交流したことはないが、今後はしてみたい	392	38.5
外国人と交流したことはないし、今後もしたくない	292	28.7
無回答	58	5.7
合計	1017	100

問28 「児童館」の認知度

	度数	パーセント
設定されていることを知っている	397	39.0
建物は見たことがある	125	12.3
どんなことが行われているかを知っている	153	15.0
自分の周りの子供たちが利用している	145	14.3
知らない	170	16.7
無回答	27	2.7
合計	1017	100

問29 社会全体では

	度数	パーセント
男性優遇	147	14.5
どちらかといえば男性優遇	522	51.3
平等	177	17.4
どちらかといえば女性優遇	39	3.8
女性優遇	10	1.0
わからない	77	7.6
無回答	45	4.4
合計	1017	100

問29 法律や制度の上では

	度数	パーセント
男性優遇	97	9.5
どちらかといえば男性優遇	247	24.3
平等	432	42.5
どちらかといえば女性優遇	25	2.5
女性優遇	10	1.0
わからない	150	14.7
無回答	56	5.5
合計	1017	100

問29 家庭生活では

	度数	パーセント
男性優遇	85	8.4
どちらかといえば男性優遇	343	33.7
平等	356	35.0
どちらかといえば女性優遇	106	10.4
女性優遇	29	2.9
わからない	51	5.0
無回答	47	4.6
合計	1017	100

問29 社会通念・慣習・しきたりなどでは

	度数	パーセント
男性優遇	229	22.5
どちらかといえば男性優遇	458	45.0
平等	143	14.1
どちらかといえば女性優遇	15	1.5
女性優遇	6	0.6
わからない	108	10.6
無回答	58	5.7
合計	1017	100

問29 職場では

	度数	パーセント
男性優遇	150	14.7
どちらかといえば男性優遇	402	39.5
平等	224	22.0
どちらかといえば女性優遇	24	2.4
女性優遇	9	0.9
わからない	136	13.4
無回答	72	7.1
合計	1017	100

問30 「かみさと 男女平等参画推進プラン」の認知度

	度数	パーセント
聞いたことがある	142	14.0
名前は知っている	180	17.7
どんな内容の計画か知っている	33	3.2
知らない	576	56.6
無回答	86	8.5
合計	1017	100

問29 学校教育の場では

	度数	パーセント
男性優遇	17	1.7
どちらかといえば男性優遇	95	9.3
平等	510	50.1
どちらかといえば女性優遇	18	1.8
女性優遇	4	0.4
わからない	304	29.9
無回答	69	6.8
合計	1017	100

問31 男女平等を実現するための方策

	度数	パーセント
法律や制度の上での見直しを行い、女性差別につながるものを改めること	103	10.1
女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること	242	23.8
女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること	200	19.7
女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること	186	18.3
政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	99	9.7
その他	20	2.0
わからない	124	12.2
無回答	43	4.2
合計	1017	100

問29 政治の場では

	度数	パーセント
男性優遇	237	23.3
どちらかといえば男性優遇	396	38.9
平等	179	17.6
どちらかといえば女性優遇	9	0.9
女性優遇	2	0.2
わからない	132	13.0
無回答	62	6.1
合計	1017	100

問32 女性が職業を持つことについての考え

	度数	パーセント
女性は職業をもたない方がよ	11	1.1
結婚するまでは職業をもつ	30	2.9
方がよい		
子どもができるまでは、職業	51	5.0
をもつ方がよい		
子どもができて、ずっと職	399	39.2
業を続ける方がよい		
子どもができたら職業をや	364	35.8
め、大きくなったら再び職業		
をもつ方がよい		
その他	66	6.5
わからない	64	6.3
無回答	32	3.1
合計	1017	100

問33 職員の対応・態度が悪い

	度数	パーセント
そう思う	74	7.3
ややそう思う	204	20.1
あまりそうは思わない	463	45.5
そうは思わない	229	22.5
無回答	47	4.6
合計	1017	100

問33 仕事が遅い・待たされる

	度数	パーセント
そう思う	74	7.3
ややそう思う	182	17.9
あまりそうは思わない	487	47.9
そうは思わない	224	22.0
無回答	50	4.9
合計	1017	100

問33 仕事のやり方が計画的でない

	度数	パーセント
そう思う	69	6.8
ややそう思う	185	18.2
あまりそうは思わない	508	50.0
そうは思わない	171	16.8
無回答	84	8.3
合計	1017	100

問33 職員にコスト意識がない

	度数	パーセント
そう思う	152	14.9
ややそう思う	262	25.8
あまりそうは思わない	384	37.8
そうは思わない	143	14.1
無回答	76	7.5
合計	1017	100

問33 利用時間が不便である

	度数	パーセント
そう思う	171	16.8
ややそう思う	250	24.6
あまりそうは思わない	354	34.8
そうは思わない	186	18.3
無回答	56	5.5
合計	1017	100

問33 手続きが煩雑である

	度数	パーセント
そう思う	109	10.7
ややそう思う	261	25.7
あまりそうは思わない	440	43.3
そうは思わない	141	13.9
無回答	66	6.5
合計	1017	100

問33 効果の少ない事業が多い

	度数	パーセント
そう思う	127	12.5
ややそう思う	295	29.0
あまりそうは思わない	405	39.8
そうは思わない	115	11.3
無回答	75	7.4
合計	1017	100

問33 住民の意向をあまり反映していない

	度数	パーセント
そう思う	129	12.7
ややそう思う	312	30.7
あまりそうは思わない	393	38.6
そうは思わない	121	11.9
無回答	62	6.1
合計	1017	100

問34 町の行政に関する情報の情報源

	度数	パーセント
町報(広報かみさと)	937	37.3
町議会報(かみさと議会だより)	451	18
町のホームページ	76	3
役場の窓口・担当課	44	1.8
掲示板・回覧板	415	16.5
新聞の地域版・テレビ・ラジオ	68	2.7
民生員や町内会・自治会	78	3.1
町議会議員や町役場職員との会話	68	2.7
家族や知人、近所の人との会話	306	12.2
その他	12	0.5
町の行政に関する情報は得ていない	37	1.5
無回答	17	0.7
合計	2509	100

問35 得たい町の情報

	度数	パーセント
町行政の状況など、町政の動きに関する情報	481	11.8
町の財政状況や予算などに関する情報	344	8.4
公民館・体育館・図書館などの情報	314	7.7
文化・学習活動やスポーツ活動に関する情報	257	6.3
展覧会、競技会などの催し物やイベントに関する情報	258	6.3
市民サークル・団体に関する情報	148	3.6
観光・レクリエーションなどのレジャーに関する情報	213	5.2
福祉に関する情報	456	11.2
医療・保健などの健康に関する情報	683	16.7
防犯・防災に関する情報	412	10.1
ごみ収集などの生活情報	463	11.4
その他	17	0.4
無回答	33	0.8
合計	4079	100

使用調査票

第4次上里町総合振興計画後期基本計画のための

上里町まちづくりアンケート調査 ご協力のお願い

町民の皆様には、日頃から町政に対し格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

町では現在、第4次総合振興計画に基づき「人と自然が響きあう“ハーモニーガーデン上里”」の将来像のもと、町民の皆様と共に全力でまちづくりを進めております。

この度、平成24年度を初年度とする第4次上里町総合振興計画後期基本計画を策定するにあたり、平成19年度にスタートした前期基本計画の検証を行うとともに、アンケート調査を実施することになりました。

本調査は、町民の皆様のご意見をお聞かせいただきたく実施するもので、町内居住者を対象に2,000名を無作為に抽出し、ご協力をお願いしています。

調査内容は、同計画策定のための資料として使用させていただき、回答者が特定されたり、個々の調査内容が他の目的に使用されたりすることはございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、今後のまちづくりを皆様とともに考えていきたいと思っておりますので、調査の目的、趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせいただきたく存じます。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

平成23年1月

上里町長 関根孝道

【記入上のご注意】

- 宛て名のご本人がお答えください。
- お答えは、設問ごとに（1つに○）、（2つまで○）などそれぞれ指定されていますので、お間違えのないよう気をつけてください。
○は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①）
- ご記入いただいた調査票は2月4日（金）までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）
- この調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

上里町役場総合政策課

電話 0495-35-1238

FAX 0495-33-2429

あなたご自身のことについて

問1 あなたご自身のことについてお伺いします。(それぞれ1つに○)

(1) 性別	1 男	2 女		
(2) 年齢	1 20歳代 4 50歳代	2 30歳代 5 60歳代	3 40歳代 6 70歳以上	
(3) 職業等	自営	1 農業 3 卸小売・飲食業	2 製造業・建設業 4 その他サービス業等	
	お勤め	5 農業 7 卸小売・飲食業	6 製造業・建設業 8 その他サービス業等(公務員を含む)	
	その他	9 主婦(パートタイムを含む) 11 派遣・アルバイト	10 無職 12 学生・その他	
(4) 就学先・勤務先	1 町内 5 藤岡市・高崎市	2 本庄市 6 その他県外	3 郡内他町 7 就学・勤務していない	4 その他県内
(5) 出身地	1 上里町に生まれてからずっと住んでいる 2 上里町出身だが、町外での居住経験がある 3 県内の他の市町村出身である 4 県外の出身である			
(6) 居住地	1 賀美小学校区 4 上里東小学校区	2 長幡小学校区 5 神保原小学校区	3 七本木小学校区	
(7) 子どもの有無	(該当するものすべてに○) 1 小中学生の子どもがいる 2 小学生未満の子どもがいる 3 高校生以上の子どもがいる 4 子どもはいない			
(7) 障がいの有無	(該当するものすべてに○) 1 障害者手帳を持っている(身体・知的・精神) 2 介護保険の要介護(要支援)である 3 いずれにも該当しない			

暮らしやすさについて

問2 あなたは、上里町は住みよいと感じていますか。(1つに○)

- 1 住みよい 2 まあまあ住みよい 3 あまり住みよくない

問3 あなたは、上里町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。(1つに○)

- 1 とても愛着を感じている 2 愛着をやや感じている
3 愛着をあまり感じていない 4 愛着を感じていない

問4 あなたにとって、最も残しておきたい上里町のよさは何ですか。(1つに○)

- 1 豊かな自然環境 2 公害のない健全な住環境 3 歴史・伝統
4 隣近所との付き合い 5 のどかな雰囲気 6 その他()

問5 あなたは、今後も上里町に住み続けたいですか。(1つに○)

- 1 ずっと住み続けたい 2 当分は住み続けたい 3 いずれ町外に転居したい
4 すぐに町外に転居したい 5 わからない

各分野の満足度について

問6 上里町の生活環境やまちづくりの現状について、①満足度、②重要度を分野ごとにおたずねします。

① 各項目の現状についてどの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号に○をつけてください。

② 各項目についてどの程度重要だと思いますか。それぞれの項目についてあてはまる番号に○をつけてください。

		① 満足度					② 重要度					
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	
例	(1) 保健（健診・健康講座など）	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
保健・医療・福祉	(1) 保健（健診・健康講座など）	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(2) 医療	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(3) 高齢者への介護・福祉	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(4) 障害者への支援	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(5) 子育て支援（保育園、児童館など）	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
生活環境	(6) 公園	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(7) 道路整備	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(8) 鉄道・バス	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(9) 水道	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(10) 汚水処理 （下水道、集落排水、合併浄化槽）	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(11) ごみ収集・処理	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(12) 消防	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(13) 防災	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(14) 交通安全	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(15) 防犯	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
産業振興	(16) 農業振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(17) 工業振興（建設業を含む）	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(18) 商業振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(19) 観光振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(20) 雇用対策	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

項目		評価等					① 満足度					② 重要度				
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない					
教育・文化	(21) 幼児教育（幼稚園など）	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5				
	(22) 学校教育	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5				
	(23) 生涯学習環境	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5				
	(24) スポーツ振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5				
	(25) 歴史・文化の保全・活用	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5				
行財政・まちづくり	(26) 国際交流	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5				
	(27) 男女共同参画	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5				
	(28) 地域の情報化	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5				
	(29) 地域振興（コミュニティづくり）	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5				
	(30) 行財政運営	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5				

まちづくりの方向について

問7 あなたは、今後の上里町はどのような方向のまちをめざすべきだと考えますか。
(主なもの3つまでに○)

- 1 良好な生活環境の整った住宅のまち
- 2 高齢者や子ども、障害者を大切にする福祉のまち
- 3 台風や大雨、地震などの災害に強い防災のまち
- 4 道路や鉄道の機能を活かした交通拠点のまち
- 5 高度な技術を中心に都市的工業の整ったまち
- 6 近代的農業を中心に緑豊かな田園のまち
- 7 商業が盛んで買い物が便利なまち
- 8 学校教育や生涯学習が充実した教育と文化のまち
- 9 スポーツが盛んなまち
- 10 その他(具体的に:)

保健・医療・福祉について

問8 あなたは現在、「健康」だと思えますか。(1つに○)

- | | | | |
|-----------|----------|------------|----------|
| 1 そう思う | → (問9へ) | 2 ややそう思う | → (問9へ) |
| 3 あまり思わない | → (問10へ) | 4 まったく思わない | → (問10へ) |

問9 問8で「1 そう思う」「2 ややそう思う」とお答えになった方にお伺いします。
あなたが健康だと感じることができるのは、どういうことに気を付けているからだと思いますか。(主なもの3つまでに○)

- 1 定期的に運動しているから
- 2 ストレスをためないように気を付けているから
- 3 食事の量やバランスなどに気を付けているから
- 4 規則正しい生活を心がけているから
- 5 酒を飲まない、または飲む量に気を付けているから
- 6 たばこを吸わない、または吸う量に気を付けているから
- 7 趣味活動や地域活動に積極的に参加する意欲を持っているから
- 8 その他(具体的に:)

(次は問11へ)

問10 問8で「3 あまり思わない」「4 まったく思わない」とお答えになった方にお伺いします。
あなたが健康だと感じるできないのは、どういうことが原因だと思いますか。
(主なもの3つまでに○)

- 1 定期的に運動をしていないから
- 2 ストレスをためてしまうから
- 3 偏食や食事時間の不規則が多いから
- 4 規則正しい生活ができていないから
- 5 酒を飲むから
- 6 たばこを吸うから
- 7 趣味活動や地域活動に積極的に参加する意欲がないから
- 8 その他(具体的に:)

(次は問11へ)

問11 あなたはこの1年間で何らかのボランティア活動に参加しましたか。(1つに○)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 参加した → (問12へ) | 2. 参加していない → (問13へ) |
|------------------|---------------------|

問12 問11で「1 参加した」を選んだ方にお伺いします。

どんな分野の活動団体・グループですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------------------------|-------------------|-----------|
| 1 健康づくりの活動 | 2 高齢者への支援 | 3 障害者への支援 |
| 4 子育て支援 | 5 文化・スポーツなど生涯学習活動 | |
| 6 地域づくりのための活動(自治会活動を含む) | 7 防犯や防災など生活安全の活動 | |
| 8 リサイクルなど環境活動 | 9 災害援助活動 | |
| 10 その他(具体的に: _____) | | |

問13 あなたは、上里町は近隣市町村と比べ、ボランティア活動が活発だと思いますか。

(1つに○)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 活発である | 2 活発でない | 3 わからない |
|---------|---------|---------|

問14 介護保険サービスや障害者保健福祉サービス、保育サービスなどは、税や介護保険料、保育料などを財源として運営されています。

あなたは、このような福祉サービスと住民負担のあり方について、どのようにお考えですか。

(1つに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1 住民負担が高くなっても、必要な福祉サービスは充実していくべき |
| 2 住民負担もサービスも標準レベル(全国平均など)をめざすべき |
| 3 住民負担が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべき |
| 4 わからない |
| 5 その他(具体的に: _____) |

問15 町では、子ども医療費無料化(対象: 中学三年生まで)を平成22年7月から実施しています。

この施策について、ご存知でしたか?(1つに○)

- | | | |
|---------------|----------------|--------|
| 1 内容を聞いたことがある | 2 具体的な内容を知っている | 3 知らない |
|---------------|----------------|--------|

身近な地域について

問16 あなたの住んでいる地域に対して以下のことをどう感じていますか。

(それぞれ1つに○)

項目	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	まったく思わない
①自分の住んでいる地区は、近所づきあいや地域活動が活発な地区である	1	2	3	4
②自分自身は、積極的に近所づきあいや地域活動に参加している	1	2	3	4
③自分の住んでいる地区は、困っている人を助ける仕組みができています	1	2	3	4
④自分の住んでいる地区は、日頃から防犯のための目配りができています	1	2	3	4
⑤自分の住んでいる地区は、災害が起こっても、みんなで助け合えると思う	1	2	3	4
⑥自分の住んでいる地区は、環境美化活動に熱心である	1	2	3	4

環境問題について

問17 あなたは、環境にやさしい生活のために次のことを実践していますか。(それぞれ1つに○)

項目	いつも 行っている	だいたい 行っている (7～9割)	時々 行っている (4～6割)	あまり行っ ていない (1～3割)	まったく 行っ て い ない
①ごみをきちんと分別する	1	2	3	4	5
②ポイ捨てをしない	1	2	3	4	5
③なるべく公共交通機関を 利用する	1	2	3	4	5
④冷房は28度以上、暖房は 20度以下に設定している	1	2	3	4	5
⑤風呂などの節水に心がけ ている	1	2	3	4	5

防災について

問18 あなたは、災害への備えのために次のことを実践していますか。(それぞれ1つに○)

項目	いつも 行っている	行っ て い る	あまり 行っ て い ない	ま っ た く 行 っ て い ない
①防災備品の準備(懐中電灯、消火 器、救急箱、非常用持出し袋など)	1	2	3	4
②家具の転倒防止策	1	2	3	4
③被災時の家族との連絡方法の確 認	1	2	3	4
④避難場所の確認	1	2	3	4

交通対策について

問19 あなたは、町内や近隣の交通手段として、どのような取り組みが充実すればいいと思いますか。（主なもの3つまでに○）

- 1 高崎線の利便性の確保
- 2 民間バス（本庄市等）の利便性の確保
- 3 八高線の利便性の確保
- 4 町内福祉巡回バスの拡充
- 5 町内と本庄や藤岡の市街地を結ぶ公共交通の確保
- 6 町内と本庄早稲田駅を結ぶ公共交通の確保
- 7 障害者や高齢者などのための送迎サービスの充実
- 8 デマンド型タクシー（事前予約制の低料金・乗合タクシーサービス）
- 9 その他（具体的に：)

地域情報化について

問20 あなたは、高度情報化社会に対応するため、町では今後どのような取り組みを重視すべきだと思いますか。（主なもの2つまでに○）

- 1 高度情報通信網の整備促進など情報通信基盤の整備
- 2 町ホームページの充実などインターネット等を通じた情報提供の充実
- 3 申請・届出等手続の電子化など住民サービスのネットワーク化
- 4 保健・医療・福祉、生涯学習・文化・スポーツをはじめとする多様な分野での情報サービスの提供
- 5 学校教育・生涯学習などでの情報教育の充実
- 6 情報化に対応した個人情報保護対策の充実
- 7 その他（具体的に：)

産業振興策について

問21 あなたは、町の農業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。（主なもの3つまでに○）

- 1 農道、用・排水施設の整備や農地整備など生産基盤の充実
- 2 優良農地の保全
- 3 農地の集約や農作業受委託などによる経営規模の拡大
- 4 農業生産グループ・団体づくりや育成施策の強化
- 5 農業後継者の育成
- 6 先端農業技術などの積極的導入（新品種、情報システムの導入など）
- 7 地場特産品の開発、主産地形成の促進
- 8 農畜産物を利用した加工食品の開発
- 9 体験農業、観光農業、町民農園などの振興
- 10 低農薬・有機栽培など環境にやさしい農業の振興
- 11 地産地消の推進ならびに流通・販売体制の確立
- 12 現状のままでよい
- 13 その他（具体的に：)

問22 あなたは、町の商業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(主なもの2つまでに○)

- | | |
|---|------------------------------|
| 1 | 神保原駅周辺や国道17号沿線の商業環境の整備 |
| 2 | 上里サービスエリアでの地元商業者の店づくりの促進 |
| 3 | 大規模な店舗(スーパー、デパートなど)の誘致 |
| 4 | 商業イベントの開催や消費者サービスなど販売促進対策の充実 |
| 5 | 商業経営の近代化やサービスの向上のための支援の充実 |
| 6 | 現状のままでよい |
| 7 | その他(具体的に:) |

問23 あなたは、町の工業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(主なもの2つまでに○)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 既存企業の育成・振興 |
| 2 | 上里サービスエリア周辺地区への工業用地の整備と優良企業の誘致 |
| 3 | 起業家への支援や新産業の開発・育成 |
| 4 | 既存企業の集約等による住工混在の解消 |
| 5 | 現状のままでよい |
| 6 | その他(具体的に:) |

問24 あなたは、町の観光・レクリエーション開発・振興のために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(主なもの2つまでに○)

- | | |
|---|--|
| 1 | まちの歴史・文化をテーマとした観光機能の充実 |
| 2 | 河川を利用した水と緑にふれあえる観光機能の充実 |
| 3 | 観光農業などまちの産業と連携した観光機能の充実 |
| 4 | イベントや祭りの内容の充実・町のイメージキャラクターの作成 |
| 5 | わかりやすい観光案内板の整備 |
| 6 | 広域的な連携による観光ルートの設定 |
| 7 | モデル的な観光ルートマップの作成 |
| 8 | 観光開発は、自然環境や生活環境の悪化につながりかねないので進めるべきではない |
| 9 | その他(具体的に:) |

学習・スポーツなどについて

問25 町の小学校・中学校の教育について、どう感じていますか。(それぞれ1つに○)

項目	そう思う	どちらでもない	そうは思わない	わからない
①ゆとりを持った教育を行っている	1	2	3	4
②基礎学力を定着する教育ができています	1	2	3	4
③個性を尊重する教育を行っている	1	2	3	4
④進路に対応した教育ができています	1	2	3	4
⑤地域に開かれた学校運営ができています	1	2	3	4
⑥子どもたちが先生を尊敬している	1	2	3	4
⑦いじめ・不登校や学級崩壊が少ない	1	2	3	4

問26 町内で実施される文化・芸術鑑賞では、こういった分野を充実してほしいですか。
(主なもの2つまでに○)

1 音楽鑑賞	2 絵画・陶芸など芸術作品の鑑賞	3 演劇鑑賞
4 映画鑑賞	5 落語・漫才など	6 その他(具体的に:)

問27 あなたは、外国人と何らかの交流(親しくつきあう、お世話をするなど)をしたことがありますか。(1つに○)

1 現在、外国人と交流している
2 以前、外国人と交流したことがある
3 外国人と交流したことはないが、今後はしてみたい
4 外国人と交流したことはないし、今後もしたくない

問28 町では小学校全地区に「児童館」を設置しています。これらについてお伺いします。
(1つに○)

1 設定されていることを知っている
2 建物は見たことがある
3 どんなことが行われているかを知っている
4 自分の周りの子供たちが利用している
5 知らない

男女共同参画について

問29 あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
①～⑥のそれぞれについて、どちらかが優遇されている、または平等と思うという
1～6の番号に○をつけてください。

項目	男性優遇	どちらか といえば 男性優遇	平等	どちらか といえば 女性優遇	女性優遇	わから ない
①社会全体では	1	2	3	4	5	6
②家庭生活では	1	2	3	4	5	6
③職場では	1	2	3	4	5	6
④学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
⑤政治の場では	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
⑦社会通念・慣習・ しきたりなどでは	1	2	3	4	5	6

問30 町では平成22年に「かみさと 男女平等参画推進プラン」を策定しました。
これについてお伺いします。(1つに○)

1 聞いたことがある	2 名前は知っている
3 どんな内容の計画か知っている	4 知らない

問31 今後、あなたが、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要だと思うことは何でしょうか。(1つに○)

- 1 法律や制度の上での見直しを行い、女性差別につながるものを改めること
- 2 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること
- 3 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること
- 4 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること
- 5 政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
- 6 その他 ()
- 7 わからない

問32 一般的に、女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。(1つに○)

- 1 女性は職業をもたない方がよい
- 2 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- 3 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
- 4 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい
- 5 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- 6 その他 ()
- 7 わからない

行政運営について

問33 あなたは、役場の仕事ぶりをどう感じていますか。(それぞれ1つに○)

項 目	そう 思う	ややそう 思う	あまり そうは 思わない	そうは 思わない
①職員の応対・態度が悪い	1	2	3	4
②仕事が遅い・待たされる	1	2	3	4
③仕事のやり方が計画的でない	1	2	3	4
④職員にコスト意識がない	1	2	3	4
⑤利用時間が不便である	1	2	3	4
⑥手続きが煩雑である	1	2	3	4
⑦効果の少ない事業が多い	1	2	3	4
⑧住民の意向をあまり反映していない	1	2	3	4

